

令和 7 年 度

学校推薦型選抜 学生募集要項

人 文 学 部 (学校推薦型選抜Ⅱ) 教 育 学 部 (学校推薦型選抜Ⅰ,Ⅱ)
経 済 学 部 (学校推薦型選抜Ⅰ) 理 学 部 (学校推薦型選抜Ⅰ,Ⅱ)
医学部(保健学科) (学校推薦型選抜Ⅱ) 工 学 部 (学校推薦型選抜Ⅱ)
農 学 部 (学校推薦型選抜Ⅰ) 共同獣医学部 (学校推薦型選抜Ⅱ)
ひと・まち未来共創学環 (学校推薦型選抜Ⅰ)

※医学部医学科については別冊子として
11月下旬頃公表予定です。

山 口 大 学

出願期間(インターネット出願)

【学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)】

令和6年11月1日(金)～11月7日(木)

【学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)】

令和6年12月16日(月)～12月20日(金)

出願や入学試験に関する重要な情報・お知らせ等はホームページでお知らせしますので、出願前や受験前は特に確認してください。

山口大学ホームページ

(入試関連情報)

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



以降のページに関して、学校推薦型選抜Ⅰに係る「学部」と記載のあるものについては、個別学力検査の指定があるもの以外は、「学環」を含みます。

目 次

山口大学のアドミッション・ポリシー	1
各学部のアドミッション・ポリシー	3
第1 募集人員及び日程等	17
第2 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）	21
1. 出願の要件	22
2. 出願手続	25
3. 各学部の志望方法等	25
4. 志願状況の情報提供について	25
5. 入学者選抜方法等	26
6. 合格発表	30
第3 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）	31
1. 出願の要件	32
2. 出願手続	33
3. 各学部の志望方法	33
4. 志願状況の情報提供について	33
5. 入学者選抜方法等	34
6. 合格発表	42
第4 共通事項	43
1. 出願方法	44
2. 出願書類等	46
3. 個人情報の利用について	46
4. 検定料の返還	47
5. 注意事項	47
6. 障害等のある入学志願者との事前相談について	48
7. 受験上の注意	50
8. 入学手続	51
9. 一般選抜の出願について	52
10. 入学時に要する経費	52
11. 入試成績の情報開示について	53
12. 入学料及び授業料の免除制度	53
13. 山口大学基金七村奨学金	54
14. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について	55
15. 学生寮及びアパート等	55
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認（重要）	57
（参考）推薦書・志望理由書	
交通のご案内	

山口大学のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

●求める学生像

- 学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- 明確な目的意識をもち、高い目標を掲げて努力してきた人
- 自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- 自分の考えや意見を論理的に説明できる人

●入学者選抜の基本方針

山口大学の教育理念及び各学部学科のアドミッション・ポリシーに基づき、山口大学の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、学力の三要素をふまえて評価する入試を実施します。入試ごとに学力の三要素の中で重視する部分を設定して多様な入試を適切な方法で実施し、多面的・総合的かつ公正に選抜します。

一般選抜の前期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能を重視し、教科試験を中心として学力を測る個別学力検査を行い、総合的に審査します。

一般選抜の後期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを幅広く測る小論文、面接などの個別学力検査を行い、総合的に審査します。

総合型選抜では、出願書類や講義等理解力試験、面接を用いて、学部・学科が求める基礎的な学力や知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）では、出願書類、小論文、面接を用いて基礎学力や学部・学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、小論文で思考力・判断力・表現力などを評価し、面接試験や出願書類の内容によって人間性や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

その他の選抜では、多様な背景を持つ人材をそれぞれの特性に基づいて評価し、審査する入試を実施します。

各入学試験で重視するポイント

			基礎的な 学力	学部・学科 が求める 知識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体的に学 習に取り組 む態度・協 働性など
一般選 抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験・実技	○	◎	○	
		小論文 ※ 1		◎	◎	◎
		面接 ※ 2		◎	◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験 ※ 3	○	◎	◎	
		小論文 ※ 4		◎	◎	◎
		面接 ※ 5		◎	◎	◎
総合型選抜	出願書類	○	◎	◎	◎	
	講義等理解力試験	◎	◎	◎	◎	
	面接		◎	○	◎	
学校推薦型選抜 Ⅰ	出願書類	◎	◎		◎	
	小論文		◎	◎		
	面接 ※ 6		◎	◎	◎	
学校推薦型選抜 Ⅱ	大学入学共通テスト	◎	○			
	出願書類		◎		◎	
	小論文 ※ 7		◎	◎		
	面接		◎	◎	◎	

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

※1 教育学部の一部で行っています。

※2 教育学部の一部と医学部の一部で行っています。

※3 理学部の一部で行っています。

※4 経済学部，医学部，工学部，国際総合科学部で行っています。

※5 理学部の一部，人文学部，医学部，農学部，共同獣医学部，国際総合科学部，ひと・まち未来共創学環で行っています。

※6 教育学部の一部，理学部の一部，農学部，ひと・まち未来共創学環で行っています。

※7 医学部の一部と共同獣医学部で行っています。

各学部・学科のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な入学時の学力については，以下の各学部・学科のアドミッション・ポリシーにおいて示します。

各学部のアドミッション・ポリシー

人文学部

●「教育理念」「目標」

「人間とは何か」という根元的な問いかけを共有し、私たちの世界の過去と現在を見据え、将来のあるべき姿を模索することを通じて、よりよい未来を築く一人ひとりを育てます。

そのために、

- (1) 地域や時代を超えて情報を読み解き、適切に表現できるリテラシー能力を身につけた人材を育成します。
- (2) 人間や社会に関する幅広い教養と専門分野における深い学力を養い、社会の発展に寄与できる人材を育成します。
- (3) 日本と国際社会に対する理解を深め、異文化交流に貢献できる人材を育成します。
- (4) 少人数教育を通じて、自らの課題を発見・探究し解決できる人材を育成します。

●求める学生像

他者や異文化に対する寛容な姿勢と、社会生活の基本的なルールを身につけている人を求めています。豊かな人間性こそ大切だと考え、現代を生きる柔軟な知恵と人文的教養の両方を学びたいと考える人に期待しています。

- ① 私とは何か、存在するとはどういうことかなど、根元的な問いへの関心を持ち、さまざまな物事について自ら深く問う力を鍛えたいと望む人
- ② 私たちはなぜここにいるのか、今後どこに行こうとしているのかなどについて、史料を読解・分析する技量を修得することによって問いたいと望む人
- ③ 現代社会はどのように変化しつつあるのか、どのような方向に進むべきかなどについて、調査・分析の技法を修得することによって問いたいと望む人
- ④ 「ことば」の本質を見つめ、さまざまな地域や時代の言語の特徴を体系的に理解したいと望む人
- ⑤ 多様な文化とその表現に興味を持ち、文学や芸術を深く味わうことを通して人間と社会を見つめてみたいと望む人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

入学後は、多角的で多層的な人間探究に携わるのですから、まず「この科目だけを勉強しておけばよい」とか「この分野の勉強は必要ない」というような狭い発想は捨ててください。人文学部の学問では、言葉や文字、もの、そして人と向かい合い、対話することが基本です。様々なジャンルにおける「発展的解釈力」と「コミュニケーション能力」が必要です。国語や外国語の基礎能力が土台になりますが、あらゆる分野における知識や興味関心も、必然的に関与してきます。

人文学部が大学入学共通テストや個別学力検査で課している「国語」「数学」「地理歴史・公民」「外国語（英語）」「情報」に関して、高等学校教育課程修了にふさわしい学力を備えていることが最低限必要です。それ以外にも、「理科」「芸術」「家庭」「保健体育」など、全分野にわたって基礎的・常識的な知識と関心を持っていることも強く望まれます。

教育学部

●「教育理念」「目標」

教育学部は、理論と実践の融合による総合的人間力の育成を教育理念とし、多様な学問・研究の機会や地域の教育関係者との協働を通して、教育に関する専門的理論と実践的指導力を兼ね備えた教員を養成することを目標にしています。

●求める学生像

人間と教育に深い関心を持ち、学校教育や地域社会に貢献しようとする積極的な意欲を持つ人、さらに自らの専門性を十分修得できる基礎的な学力を持つ人を求めています。

- ① 子どもを愛し、教育及び教職に強い関心と情熱を持つ人
- ② 学校教育における学習指導や生徒指導等に関心を持ち、自らの能力を高め、学校教育に貢献するという強い意欲を持つ人
- ③ 教職を目指し、常に自らの生き方を謙虚に問いつづける人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、及びコミュニケーション能力を持っておく必要があります。したがって、本学部に入学するまでに、各コース・選修が課す入試に対応する教科・科目において、次のものを身につけておくことが望まれます。

- ① 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な読解力、及び言語文化に対する興味・関心
- ② 地理歴史・公民については、各科目における基礎的な知識、及び社会事象に対する関心や探究心
- ③ 数学については、基礎的な知識と技能、及び基本的な数学的思考方法
- ④ 理科については、各科目における基礎的な知識、及び自然や科学に対する関心や探究心
- ⑤ 外国語については、ある程度の長文の読解力、表現力、リスニング能力、及び文法に関する基礎的な知識
- ⑥ 情報については、情報技術についての知識と技能、及び情報に関する科学的思考と問題解決力

また、実技については、各コース・選修が課す入試に対応する教科・科目において、次のものを身につけておくことが望まれます。

- ① 音楽については、基礎的な表現技能、及び音楽に対する関心や探究心
- ② 美術については、基礎的な造形能力、及び美術に対する関心や探究心
- ③ 保健体育については、体育やスポーツに対する関心、及び運動能力向上への探究心

経 済 学 部

●「教育理念」「目標」

経済学部は、「広く社会現象について自ら問いを発見し、その問いの解決の方策をはぐくみ、豊かな社会の構築に貢献する」という観点から、「社会に貢献しうる実践的経済人の育成」を目指しています。そのため、特徴あるコースカリキュラムにおいて知識や技術の修得をはかり、伝統ある少人数教育ゼミナール等において幅広い人間形成を行い、国際社会や地域社会の現実的要請に応えられる、実践的で個性的な人材を育てたいと考えています。

●求める学生像

- ① 真に人間的な平和・幸福・豊かさを探求し、公正・公平を追求する心を持った人
- ② 国や地域を越えた多くの人々との出会いを大切にし、国際社会や地域社会に貢献したいと思っている人
- ③ 経済社会における諸問題に関心を持ち、経済学関連分野で能力を発揮したい人
- ④ 経済学・経営学・法学等を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を持っている人
- ⑤ 入学目的を明確に持ち、自ら問いを見だし、自分の頭で柔軟かつ論理的に考え、他人の意見を尊重しつつ、率直に議論・対話のできるリーダーシップにあふれた個性的な人
- ⑥ 総合的な視野で現代社会の諸問題を考察し、高度専門職業人等を目指す人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

経済学部での4年間をより豊かで充実したものとするためには、単に知識を修得するだけではなく、正確な情報を選び取り活用できるリテラシー能力や、多くの異なる考えの人々と意見を交わし、互いに認め合うことのできるコミュニケーション能力を高めていくことも重要です。

以上のことから、本学部に入學するにあたり、以下のことを学び、身につけておくことを希望します。

- ① 国語については、資料や文章を読むための読解力と自分の考えを適切に表現するための作文能力
- ② 地理歴史・公民については、歴史的事実や新聞・ニュース報道を通じて、世界の動きに関心を持つ好奇心と探究心および観察力
- ③ 数学については、単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と応用力（商業高校においては、簿記について同様の理解力と応用力）
- ④ 英語については、資料や文章を読むための読解力と日常生活において意思疎通を行うための基本的なコミュニケーション能力
- ⑤ 論理的な思考に基づいて自らの考えを口述により適切に表現できる力
- ⑥ 情報については、情報処理または問題解決における基礎的な知識と技能

●「教育理念」「目標」

専門的な知識・技術とともに、科学的論理性および柔軟で創造的な思考法を身につけ、現象の普遍性を明らかにすることができ、人類や地域社会の発展に寄与・貢献できる人を育成します。

●求める学生像

数理科学科

- ① 数理科学に興味をもち、物事の有様を深く考えることの好きな人
- ② 論理的思考能力や新しい概念を柔軟に吸収する能力に優れている人
- ③ 多様に進展している情報化社会で、数理科学分野で自己実現をしたいと思う人

物理・情報科学科

- ① 物理学、情報科学やこれらの学際的分野に対する向学心を持ち、将来これらの分野で活躍することを目指す人
- ② 忍耐強く勉学に励み、論理的に思考することの好きな人
- ③ 幅広く学び理数の基礎を身につけ、新しいことに挑戦したい人

化学科

- ① 数学・理科・国語・外国語・社会・情報に関する基礎的な知識・技能を身につけている人
- ② 理科または数学の知識・技能に優れ、論理的に思考できる人
- ③ 問われた内容を適切に判断し、自身の考えを論理的にまとめることができる人
- ④ 自身の考えを他人にわかりやすく表現できる人
- ⑤ 化学を本格的に学び、将来化学、または化学に関連した分野の専門家として活躍したいという意志がある人

生物学科

- ① 生物学を学ぶために必要な自然科学の基礎知識と日本語・外国語（主として英語）の基礎学力を備えている人
- ② 生物学分野に強い関心を持ち、様々な生命現象を科学的・多面的に観察する探究心のある人
- ③ 人間生活と自然環境との関わりに深い興味と問題意識がある人
- ④ 自然現象を実験的・論理的に考察し、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる人
- ⑤ 生物学および関連分野の専門知識・技術を身につけ、社会に貢献したいという意志をもっている人

地球圏システム科学科

- ① 地球科学に強い興味をもち、将来この分野での活躍を希望する人
- ② 自然科学の真理を探究するため、物事を深く考えるとともに、社会、歴史、経済などにも広く関心をもつ人
- ③ 自らが学ぶ姿勢をもち、新たな分野に立ち向かう柔軟性とチャレンジ精神をもつ人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

数理科学科

本学科における専門教育は高等学校における教育の十分な理解を前提に行われます。したがって入学するまでに、高等学校における各教科について次のものを身につけておく必要があります。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」を学習し、その内容をよく理解した上で、問題解答能力と数学的思考法
- ② 理科については、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上を学習し、基本的な概念や原理・法則を理解した上で、そこに潜む数学的原理に対する強い関心
- ③ 地理歴史・公民については、現代人としての常識的な知識
- ④ 国語、英語については、現代人としての常識的な知識とともに、読解力、表現力、コミュニケーション能力
- ⑤ 情報については、「情報Ⅰ」を学習し、基礎的事柄を理解した上で、数学への活用を視野に入れた学習姿勢

物理・情報科学科

本学科では、物理学、情報科学及び理学一般に対する向学心を持っていることを前提としますので、入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の基礎的な知識・技能と論理的思考法
- ② 理科については、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上の基礎的な知識・技能
- ③ 情報については、「情報Ⅰ」の基礎的な知識・技能と論理的思考法
- ④ 実験・観測で得られた知見を元に、基本的法則・原理を踏まえつつ、自然現象の有り様を論理的に探究していく姿勢
- ⑤ 国語、英語の科目については、基本的な読解力、論理的説明力、コミュニケーション能力
- ⑥ 地理歴史・公民については、一般常識的な知識

化学科

化学を本格的に学び、将来化学の専門家として活躍する意志がある人を求めています。入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ① 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」を勉強し、化学の諸現象を数学的に考察して処理する能力を身につけておくこと
- ② 「化学基礎及び化学」に加えて、「物理基礎及び物理」、「生物基礎及び生物」および「地学基礎及び地学」から1科目以上を修得しておくこと
- ③ 事物や自然現象の観察を行い、実験等を通じて自然や科学に対する関心や探求心を高め、探究する能力と態度

- ④ 国語と英語の科目については、実験レポートや研究論文作成のための読解力、表現力、コミュニケーション能力
- ⑤ 地理歴史・公民については、基本的な知識・技能
- ⑥ 情報については、基礎的な知識・技能

生物学科

入学後の学修のため、高等学校卒業程度の基礎学力を身につけておく必要があります。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の基礎的な知識および基本的な計算力を身につけておくこと
- ② 「生物基礎及び生物」に加えて、「化学基礎及び化学」、「物理基礎及び物理」および「地学基礎及び地学」から1科目以上を修得しておくこと
- ③ 情報については、「情報Ⅰ」の基礎的な知識・技能と論理的思考法
- ④ 事物や自然現象の観察を行い、実験等を通じて自然や科学に対する関心や探求心を高め、探究する能力と態度
- ⑤ 国語と英語については、基本的な読解力および文章表現力、コミュニケーション能力
- ⑥ 地理歴史・公民については、基本的な知識

地球圏システム科学科

本学科では、入学後地球的視点で物事を捉え、多面的な基礎能力や素養を身につけていくことを目標としているので、入学するまでに次のものを身につけておくことが望ましい。

- ① 理科の学習を通じた自然科学への深い関心とその基礎的な考え方
- ② 地理歴史・公民への広い関心と多様な価値観や世界観，考え方があることの理解
- ③ 国語や外国語の学習を通じた日本語による論理的な記述力やコミュニケーション能力
- ④ 数学の学習を通じた数学的思考法に関する能力
- ⑤ 情報の学習によるデータサイエンスや情報処理に関する基礎的な知識・技能

●「教育理念」「目標」

保健学科

保健学科では、保健・医療の分野において、真理を探究し、人類の幸福と発展に資する知識・技術を「発見し」「はぐくみ」「かたちにする」ことを教育理念とし、保健・医療の専門的知識と技術の教授とともに、豊かな人間性を涵養する教育を行い、今後の社会の変化に対応し得る医療技術者を養成することを目的として、以下のような教育目標を掲げています。

- (1) 保健・医療の変化に対応できる人材の育成
- (2) 保健・医療チームの一員として活躍できる人材の育成
- (3) 保健・医療の学問体系の確立に貢献できる人材の育成
- (4) 保健・医療の国際化に対応できる人材の育成
- (5) 地域保健及び地域医療の向上に貢献できる人材の育成

●求める学生像

保健学科

- ① 保健・医療を学ぶために必要な幅広い学力を身につけている人
- ② 保健・医療に貢献したいと考えている人
- ③ 豊かな感性を持ち、他人を尊重することができる人
- ④ 知的好奇心が旺盛で、論理的思考ができる人
- ⑤ 広い視野から物事を判断できる人
- ⑥ 責任感が強く、自分の意見を持ち、かつ柔軟性のある人
- ⑦ 保健・医療で国際的に活躍したいと思っている人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

保健学科

本学科は保健・医療に貢献できる人材の育成を目的としているので、全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、健康で幅広い教養と道徳性をバランスよく身につけていることが必要です。

したがって、本学に入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ① 国語、英語については、基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・思考力
- ② 数学については、基本的な概念や原理・法則をよく理解した上での知識と計算力、及び論理的思考方法
- ③ 理科については、基礎的な知識、及び様々な自然現象について科学的に探究する能力と姿勢
- ④ 地理歴史・公民については、将来において地域・国際社会で良識ある人間として活躍できる知識、及び問題解決に主体的に取り組める能力と姿勢
- ⑤ 情報については、科学的な見方・考え方をもち、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決するための基礎的な知識と技能

工 学 部

●「教育理念」「目標」

山口大学工学部は、山口大学が掲げる「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」という理念のもとに、科学技術の知識のみならず、学際的な教養、地球環境や生産物に対する倫理観を持つ人材を育て、国際的に通用する技術者として社会に送り出すことを目的としています。

●求める学生像

機械工学科

- ① 機械工学を積極的に学び、ものづくりを通して地域社会・国際社会に貢献する意欲のある人
- ② 数学、英語、物理的素養を持ち、力学に基づく基礎教育に十分対応できる能力を有する人
- ③ 機械工学の基礎学問を習得し、科学的に探究し、応用展開のできる能力を有する人

社会建設工学科

- ① 建設と環境に強い興味とそれらを学ぶ意欲を持つ人
- ② 数学、理科、英語に関する基礎的学力を持ち、その応用力を備えた人、あるいは建設分野の専門科目の基礎知識を持ち、その応用力を備えた人
- ③ 協調性とチャレンジ精神を持ち、国際的に活躍する意欲を持つ人
- ④ 取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

応用化学科

- ① 化学および生物化学技術に興味があり、環境・エネルギー問題の解決や先端技術を支える物質の開発など、社会の発展のために化学技術を応用したいと考えている人
- ② 化学および生物化学分野の技術者として、地域社会・国際社会に貢献する意欲を強く有する人
- ③ 新しい問題に自ら挑戦し、化学的手法を用いて問題を解決するための基礎的能力や意志を有する人
- ④ 理科、数学、英語に関する基礎学力を有する人

電気電子工学科

- ① 電気電子工学に強い興味と目的意識を持っている人
- ② 数学、理科、英語に関する基礎学力を持っている人
- ③ 自主的に学習に取り組むことができる人
- ④ 電気電子工学の新知見を国内外に発信して、世界の産業の発展に貢献する意欲のある人

知能情報工学科

- ① 情報関連技術に興味を持ち、これらを深く学びたいと強く思っている人
- ② 情報関連技術を学ぶために必要な基礎学力、特に数学、理科、英語についての基礎学力を

有する人

- ③ 情報関連分野の技術者として、地域社会・国際社会に貢献する意欲を強く有している人

感性デザイン工学科

- ① 建築技術に興味があり、地域社会・国際社会に建築分野の技術者として貢献する意欲を強く有する人
- ② 空間のデザインと人間の感性との関連について関心がある人
- ③ 数学、物理、英語に関する基礎学力を有する人
- ④ 自主的に学習に取り組むことができる人
- ⑤ 取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

循環環境工学科

- ① 環境工学に興味を持ち、学ぶ意欲を持つ人
- ② 人と自然が共生するための技術やシステムの開発を通して、グローバルな環境問題の解決に積極的に取り組むチャレンジ精神を持つ人
- ③ 理科、数学及び英語に関する基礎学力を備えた人
- ④ 取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学部における教育は、数学及び理科に関して優れた学力を有することを前提に行われます。また、本学部の教育目的のひとつである国際的に通用する技術者となるためには、英語についても基礎的な知識を持っておく必要があります。

したがって、本学部に入學するまでに次のものを身につけておくことが必要です。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」において、個々の項目の内容を理解しておくこと
- ② 理科については、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上修得し、個々の項目の内容を理解しておくこと
- ③ 国語および英語による文章読解力、作文力、コミュニケーション能力
- ④ 教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史・公民、古典及び芸術などの素養
- ⑤ 情報と情報技術についての基礎的な知識と技能

●「教育理念」「目標」

人類の生存を支える安全な食料の効率的生産，生態環境の保全，生物資源の機能開発のための高度な教育を行い，先端的研究を通じて，地域，社会の発展に寄与し，国際的に活躍できる人材を育成します。

●求める学生像

生物資源環境科学科

- ① 食料生産に強い関心を持つ人
- ② 生物を中心とした自然科学を探究しようとする情熱を持つ人
- ③ 農業及びその関連産業の発展に貢献したいという意欲を持つ人

生物機能科学科

- ① 生命現象の複雑なメカニズムを，細胞，タンパク質，遺伝子のレベルで探究したい人
- ② 人と環境とのかかわりの中で生じる諸問題を化学と生物学の視点から解決したい人
- ③ 自然や社会における問題を自ら探し出し，それを解決しようとする姿勢を持つ人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

生物資源環境科学科

本学科における教育は，理科の優れた学力，数学の一定水準以上の学力を有することを前提に行われます。本学部は教育目的に「国際的に活躍できる」「地域社会の発展に寄与できる」人材の養成を掲げていますので，外国語，国語，地理歴史・公民，情報について基礎的な知識を習得しておくことが望まれます。

したがって，本学に入学するまでに，次のものを身につけておくことが大切です。

- ① 理科については，「物理基礎及び物理」，「化学基礎及び化学」，「生物基礎及び生物」，「地学基礎及び地学」から2科目以上の修得
- ② 数学については，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学A（図形の性質・場合の数と確率）」，「数学B（数列・統計的な推測）」及び「数学C（ベクトル）」の内容の理解と数学的思考方法
- ③ 外国語，国語については読解力及び作文力を基礎とするコミュニケーション能力，地理歴史・公民については内容の理解と社会科学的探究心
- ④ 情報については，「情報Ⅰ」で扱う基礎的な知識と操作技能

生物機能科学科

本学科における教育は、数学及び理科に関して優れた学力を有することを前提に行われます。また、本学部の教育目標である国際的に活躍できる人材を育成するためには、英語、国語、地理歴史・公民、情報についても基礎的な知識（技能）を持っておく必要があります。

したがって、本学に入学するまでに次のものを身につけておくことが望まれます。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A（図形の性質・場合の数と確率）」、「数学B（数列・統計的な推測）」及び「数学C（ベクトル）」の内容の理解と数学的思考方法
- ② 理科については「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上の内容の理解と科学的思考法
- ③ 外国語、国語については読解力及び作文力を基礎とするコミュニケーション能力、地理歴史・公民については内容の理解と社会科学的探究心、情報については「情報Ⅰ」で扱う基礎的な知識

共同獣医学部

●「教育理念」「目標」

- ・国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成します。
- ・幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすと同時に社会ニーズに対応した、人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出します。

●求める学生像

発展・進化する獣医科学に取り組む知識欲と探究心、これを実践・活用する論理性と創造力、及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた、次のような学生を求めています。

- ① 獣医師の幅広い職責について理解し、獣医学を志す明確な目的意識を有する人
- ② 自然科学、人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し、獣医学の知識や技術を十分に理解、修得するための基礎学力を身につけている人
- ③ 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し、社会的にコミュニケーションがとれる人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

共同獣医学科

本学科における教育は、数学、理科及び英語に関して優れた学力を有することを前提に行われます。また、動物と人の福祉に貢献する獣医師となるためには、国語、地理歴史・公民、情報についても基礎的な知識を持つておく必要があります。

したがって、本学に入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ① 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」及び「数学C」の内容の理解と数学的思考方法
- ② 理科については、物理、化学、生物、地学から2科目以上の修得と科学的思考方法
- ③ 国語、英語については、将来において国際社会で活躍する人材の素養として、コミュニケーション能力、読解力、思考力
- ④ 地理歴史・公民については、動物と人類の福祉に貢献する人材の素養として、社会問題をさまざまな角度・視点から観察し、動物と人間について深く考える姿勢と能力
- ⑤ 情報については、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効率的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力

ひと・まち未来共創学環

山口大学ひと・まち未来共創学環では、人間の心理・行動や地域・コミュニティに対する深い理解力及び数理的素養を含む分析力を基礎として、心の豊かさやまちの豊かさの観点から、ひとや地域の課題を見出し、その課題の解決のためにデジタル技術やAI技術などを活かすプロセスを提示でき、ひと・まち（コミュニティ）を起点とした新たな価値創出につなげることができる人材の養成を目指します。そのために、次のような学生の入学を求めています。

●求める学生像

- ① ひと・まち未来共創学環における分野横断・文理融合的な学修に必要な基本的な学力がある人
- ② 課題の探究に取り組んだ経験があり、そのための基本的な思考力・判断力・表現力を身に付けている人、あるいはそれらを身に付ける意欲がある人
- ③ ひとやまちの未来を踏まえ、他者と協働して、地域課題を見出し解決しようとする意欲がある人

●入学者選抜の基本方針

山口大学ひと・まち未来共創学環の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、学力の3要素をふまえて評価する入試を実施します。入試ごとに学力の3要素の中で重視する部分を設定して多様な入試を適切な方法で実施し、多面的・総合的に選抜します。

一般選抜の前期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能を重視し、教科試験を中心として学力を測る個別学力検査、出願書類により総合的に審査します。

一般選抜の後期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを幅広く測る面接を個別学力検査として行い、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）では、出願書類、小論文、面接を用いて基礎学力や学部・学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

各入学試験で重視するポイント

			基礎的な 学力	学部・学科 が求める 知識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体的に学 習に取り組 む態度・協 働性など
一般選 抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験	○	◎		
		出願書類 ※			◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		面接			◎	◎
学校推薦型 選抜Ⅰ		出願書類	◎	○		◎
		小論文	○	○	◎	◎
		面接			◎	◎

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

※ ひと・まち未来共創学環では、志望理由書を評価します。

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

ひと・まち未来共創学環における専門教育は高等学校における教育の十分な理解を前提に行われます。したがって入学するまでに、高等学校における各教科について次のものを身につけておくことが必要です。

- ① 国語については、基本的な読解力，思考力，表現力
- ② 地理歴史・公民については、さまざまな社会現象に関する基本的な知識と問題意識
- ③ 数学については、基本的な数学の知識と数学的思考力
- ④ 理科については、自然現象及び科学技術に関する基本的な知識，好奇心，探究心
- ⑤ 英語については、基本的な読解力，作文力，会話力，聴解力
- ⑥ 情報については、情報処理または問題解決における基礎的な知識と技能

第 1 募集人員及び日程等

1. 日程等について

- (1) 本学では、入学定員の一部について、高等学校長の推薦に基づき下記のとおり学校推薦型選抜を実施します。

種 別	概 要	実施学部・学科等	
学校推薦型選抜Ⅰ ※「学校推薦型選抜Ⅰ」に出願した者は、「学校推薦型選抜Ⅱ」に出願できません。	大学入学 共通テストを 課しません。	教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース (国際理解教育選修) 幼児教育コース 特別支援教育コース 教科教育コース (数学教育選修)
		経 済 学 部	経済学 経営学 観光政策学
		理 学 部	数理学 化学 生物科学
		農 学 部	生物資源環境科学 生物機能科学
		ひと・まち未来共創学環	
入学者選抜日程	出 願 期 間 (インターネット出願)	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)	
	試 験 日	令和6年11月26日(火)	
	合 格 発 表	令和6年12月10日(火)	
	入 学 手 続	令和6年12月16日(月)～12月19日(木)	

種 別	概 要	実施学部・学科等	
学校推薦型選抜Ⅱ ※「学校推薦型選抜Ⅰ」に出願した者は、「学校推薦型選抜Ⅱ」に出願できません。	大学入学 共通テストを 課します。	人 文 学 部	人 文 学 科
		教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース (小学校総合選修) (教育科学選修) 情報教育コース 教科教育 (国語教育選修) (社会科教育選修) (理科教育選修) (音楽教育選修) (美術教育選修) (保健体育選修) (技術教育選修) (家政教育選修) (英語教育選修)
		理 学 部	物理・情報科学 地球圏システム科学
		医 学 部	保 健 学 科
		工 学 部	機械建設工学 社会用化学 応用電子工学 電気情報工学 知能情報工学 感性デザイン工学 循環環境工学
入学者選抜日程	出 願 期 間 (インターネット出願)	令和6年12月16日(月)～12月20日(金)	
	試 験 日	令和7年1月23日(木)	
	合 格 発 表	令和7年2月12日(水)	
	入 学 手 続	令和7年2月14日(金)～2月19日(水)	

(注) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)への出願は、1つの大学・学部の学科・課程等に限られています。

したがって、本学においても同一人物が「学校推薦型選抜Ⅰ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」の両方に出願することはできません。また、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することはできません。

- (2) 本募集要項における出願要件等の「高等学校」には、「中等教育学校」を含みます。

2. 募 集 人 員

学 部	学 科 等		募集人員	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを 課さない選抜)		学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを 課す選抜)
人 文 学 部	人 文 学 科		30			30
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス	小 学 校 総 合 選 修 教 育 学 選 修 国 際 理 解 教 育 選 修	15 2 3		15 2 3
		幼 児 教 育 コ ー ス		3		
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス		3		
		情 報 教 育 コ ー ス				2
		教 科 育 教 育 コ ー ス	国 語 教 育 選 修	2		2
			社 会 科 教 育 選 修	2		2
			数 学 教 育 選 修	2	2	
			理 科 教 育 選 修	2		2
			音 楽 教 育 選 修	1		1
			美 術 教 育 選 修	1		1
			保 健 体 育 選 修	1		1
			技 術 教 育 選 修	1		1
			家 政 教 育 選 修	1		1
			英 語 教 育 選 修	1		1
		計		42	11	31
経 済 学 部	経 済 学 科・ 経 営 学 科・ 観 光 政 策 学 科		78	① 39	② 39	
理 学 部	数 理 科 学 科		5	5		
	物 理 ・ 情 報 科 学 科		5			5
	化 学 科		4	4		
	生 物 学 科		4	4		
	地 球 圏 シ ス テ ム 科 学 科		4			4
	計		22	13		9
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	10			10
		検 査 技 術 科 学 専 攻	8			8
	計		18			18
工 学 部	機 械 工 学 科		12			12
	社 会 建 設 工 学 科		10			10
	応 用 化 学 科		9			9
	電 気 電 子 工 学 科		8			8
	知 能 情 報 工 学 科		8			8
	感 性 デ ザ イ ン 工 学 科		4			4
	循 環 環 境 工 学 科		6			6
	計		57			57
農 学 部	生 物 資 源 環 境 科 学 科		14	① 4	② 10	
	生 物 機 能 科 学 科		10	① 1	② 9	
	計		24	① 5	② 19	
共 同 獣 医 学 部	共 同 獣 医 学 科		3			3
ひ と ・ ま ち 未 来 共 創 学 環			8	8		
合 計			282	134		148

- (備考) 1. 経済学部における①欄は高等学校の商業に関する学科等を対象とする募集人員で、②欄は高等学校の全学科を対象とする募集人員です。
2. 農学部における①欄は、生物資源環境科学科においては、高等学校の農業に関する学科等を対象とする募集人員を、生物機能科学科においては、高等学校の農業、工業又は水産に関する学科等を対象とする募集人員を示し、②欄は高等学校の全学科を対象とする募集人員を示します。
3. 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

第2 学校推薦型選抜 I

(大学入学共通テストを課さない選抜)

教 育 学 部

学校教育教員養成課程
小学校教育コース
（国際理解教育選修）
幼児教育コース
特別支援教育コース
教科教育コース
（数学教育選修）

経 済 学 部

理 学 部

数 理 科 学 科
化 学 科
生 物 学 科

農 学 部

ひと・まち未来共創学環

1. 出 願 の 要 件

推薦を行うことができる者は、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く特別支援学校長並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の長を含みます。ただし、高等専門学校長が推薦できる者は、第3学年修了見込み者とします。

「学校推薦型選抜Ⅰ」に出願した者は「学校推薦型選抜Ⅱ」に出願できません。

学 部 等		要 件
教 育 学 部	学 校	高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、全体の学習成績の状況が3.5以上であり、人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
	教 育	
	教 育	
	教 育	【山口県小学校教員志望枠】 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で次の(1)、(2)及び(3)の条件を満たし、人物が優れ、大学卒業後に山口県の小学校教員となる意思を有し、高等学校長が責任をもって推薦できる者*で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 (1) 数学Ⅲを履修した（もしくは履修中の）者。 (2) 「数学」の学習成績の状況が4.0以上の者。 (3) 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。 注）入学後は、小学校基礎（小学校教諭一種及び中学校二種免許状（数学）取得を目指すカリキュラム）を履修することになります。 *入学後は、小学校教員としての実践力を高める学習プログラムに参加することになります。
経 済 学 部		① 高等学校の商業に関する学科等対象 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）のうち高等学校学習指導要領の主として専門学科において開設される教科（商業及び情報）の科目ならびに各学科に共通する教科（情報）の科目を卒業時まで20単位以上修得見込みの者で、次の(1)、(2)の条件を満たし、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 なお、合格者は、令和7年3月7日（金）までに卒業時の修得単位を証明できる書類（調査書等。卒業式以降に発行されたもの。）を本学へ提出してください。 (1) 全商簿記1級、日商簿記2級以上、全経簿記1級、全商情報処理1級（ビジネス情報部門）、全商情報処理1級（プログラミング部門）、基本情報技術者、ITパスポートの資格のうちいずれか1つを取得している者 (2) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 注）対象は、商業系の学科（商業高等学校の全科を含みます。）、情報系の学科及び総合学科です。なお、その他の学科においても、上記出願資格を満たす場合には、出願可能です。

学 部 等		要 件
経 済 学 部		② 高等学校の全学科対象 高等学校を令和 7 年 3 月に卒業見込みの者（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、出願時までに数Ⅱまたは理数数学Ⅱを履修した（もしくは履修中の）者のうち、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 なお、高等学校の商業に関する学科等を対象とする学校推薦型選抜（上記①）及び高等学校の全学科を対象とする学校推薦型選抜（上記②）の両方に同一人を推薦することはできません。
理 学 部	数 理 科 科	高等学校を令和 7 年 3 月に卒業見込みの者（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、次の(1)、(2)のいずれかの条件を満たし、人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 (1) 数学、理科、外国語の教科のうち少なくとも 2 科目の成績が、いずれかの学年において評定 5 を得ている者。（例えば、「数学Ⅰと数学 A が 1 年次において評定 5 である者」、「数学Ⅰが 1 年次、物理基礎が 2 年次において評定 5 である者」など） (2) 全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者。
	化 学 科	高等学校を令和 7 年 3 月に卒業見込みの者（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、次の(1)、(2)のいずれかの条件を満たし、学力、人物が優れ、勉学意欲に溢れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 (1) 数学、理科、外国語の教科のうち少なくとも 2 科目の成績が、いずれかの学年において評定 5 を得ている者。（例えば、「化学基礎と化学が評定 5 である者」、「数学Ⅰと物理基礎が評定 5 である者」など） (2) 全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者。
	生物学科	高等学校を令和 7 年 3 月に卒業見込みの者（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、次の(1)、(2)のいずれかの条件を満たし、人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 (1) 外国語または理科の教科の生物基礎、生物、化学基礎、化学のうち少なくとも 1 科目以上の成績が、いずれかの学年において評定 5 を得ている者。 (2) 全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者。

学 部 等		要 件
学 部	農 業	① 高等学校の農業に関する学科等対象 高等学校の農業に関する学科もしくは総合学科を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。また、総合学科については、農業に関する教科・科目を25単位以上修得（見込みを含む。）した者）で、次の学習成績を満たし、人物に優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 ・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上、または、理科、数学のいずれかの教科の学習成績の状況が4.5以上 推薦できる者は、1高等学校につき2名。 ※推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。 (注) なお、単位修得見込みの合格者は、令和7年3月7日（金）までに卒業時の成績証明書を本学へ提出してください。 ② 高等学校の全学科対象 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、次の学習成績を満たし、人物に優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 ・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上、または、理科、数学のいずれかの教科の学習成績の状況が4.0以上
	部 生物機能科学科	① 高等学校の農業、工業又は水産に関する学科等対象 高等学校の農業、工業又は水産に関する学科もしくは高等学校の総合学科を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）のうち、農業、工業又は水産に関する系列を25単位以上修得した者で、人物が優れ、学力全般に優秀（調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上）、あるいは理科（物理、化学、生物、地学のいずれか）の成績が特に優れており（いずれかの学年で評定5を得ている）、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 (注) 総合学科には、高等学校において農業、工業又は水産に関する系列を履修した者を含みます。 ② 高等学校の全学科対象 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、人物が優れ、学力全般に良好（調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上）、あるいは理科（物理、化学、生物、地学のいずれか）の成績が特に優れており（調査書の教科の学習成績の状況が4.0以上）、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
	* 同一人物を上記①及び②の両方に推薦することはできません。	
ひと・まち未来共創学環		高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、全体の学習成績の状況が3.5以上であり、国語、数学、外国語のいずれかで学習成績の状況が4.0以上である者のうち人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。

2. 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）～11月7日（木）

①インターネット出願登録・検定料支払い期間：

令和6年11月1日（金）0時00分～11月7日（木）17時00分

出願書類を郵送する際に使用する「宛名ラベル」（インターネット出願サイト [44ページ参照] から印刷）は、検定料支払い後でなければ印刷できません。

支払い期限は、出願期間最終日の17時までですが、郵送に要する期間等も考慮のうえ、次項②に示す郵送期限内に発送できるように計画的に支払い手続きを進めてください。

②郵送期限：11月7日（木） 必着

ただし、11月6日（水）以前の発信局消印のある「特定記録郵便速達」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

なお、郵便局の窓口で「特定記録郵便物受領証」を必ず受領して、大切に保管しておいてください。

出願書類の配送状況については、この「特定記録郵便物受領証」の番号を使用して、日本郵便のホームページ上で確認できます。

(2) 出願方法及び出願書類等

44～46ページを参照してください。

(3) 受験票の印刷

45ページを参照してください。

3. 各学部志望方法等

(1) 第2志望を認めません。

(2) 経済学部では、全学科を一括募集します。経済学科、経営学科、観光政策学科の3学科への所属は、入学後に本人の希望を参考に定員や成績等を考慮して決定し、2年次から各学科に所属することとなります。

なお、経済学科は「公共管理コース」、経営学科は「職業会計人コース」及び「企業法務コース」、観光政策学科は「観光経済分析コース」及び「観光コミュニケーションコース」を含めて募集します。各コースへの所属は、入学後に本人の希望を参考に定員や成績等を考慮して決定し、2年次から所属することとなります。

4. 志願状況の情報提供について

志願状況について、下記ホームページURLに掲載いたします。

- ・学校推薦型選抜Ⅰ志願者数（確定）……令和6年11月14日（木）以降

URL：<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

5. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び次に掲げる教科等の結果を総合審査します。

(1) 教科等

学 部 ・ 学 科 等			教 科 等
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス (国際理解教育選修) 幼 児 教 育 コ ー ス 特 別 支 援 教 育 コ ー ス 教 科 教 育 コ ー ス (数学教育選修)	小論文, 面接
経 済 学 部	経 済 ・ 経 営 ・ 観 光 政 策 学 科		小論文
理 学 部	数 理 科 学 科 化 学 科 生 物 学 科		小論文, 面接
農 学 部	生 物 資 源 環 境 科 学 科 生 物 機 能 科 学 科		小論文, 面接
ひ と ・ ま ち 未 来 共 創 学 環			小論文, 面接

(2) 教科等及びその他の配点

学 部 ・ 学 科 等			教 科 等		出 願 書 類			合 計
			小論文	面 接	調査書	志 望 理 由 書	推薦書	
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス (国際理解教育選修)	300	100		100		500
		幼 児 教 育 コ ー ス	300	100		100		500
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	100	100		100		300
		教 科 教 育 コ ー ス (数学教育選修)	300	100		100		500
経済学部	経 済 ・ 経 営 ・ 観 光 政 策 学 科		100		110			210
理学部	数 理 科 学 科		100	100				200
	化 学 科		100	100				200
	生 物 学 科		100	100				200
農学部	生 物 資 源 環 境 科 学 科		100	50				150
	生 物 機 能 科 学 科		100	50				150
ひ と ・ ま ち 未 来 共 創 学 環			300	300	100			700

(3) 採点・評価基準及び可否判定基準

① 採点・評価基準

学 部	学 科 等	教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準	
教育学部	学校教育教員養成課程	小 論 文	小学校教育コース (国際理解教育選修) 幼児教育コース 特別支援教育コース	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。 なお，国際理解教育選修の資料は，英文で提示することがあります。
			教科教育コース (数学教育選修)	数学に関する問題解決を通して，数学についての基本知識，論理的な思考力を評価・採点します。
		面 接	個人又は集団面接とし，面接委員数名が，志望動機，志望コース・選修に関する基礎学力・基礎能力，勉学意欲及び表現力等を評価・採点します。	
		調 査 書 推 薦 書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。	
		志望理由書	志望理由，志望コース・選修に関する考え方，勉学意欲及び表現力等を総合的に評価・採点します。	
経済学部	経済・経営・観光政策学科 (商業学科等対象)	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。	
		推 薦 書	出願要件を確認するために使用します。	
		調 査 書 志望理由書	調査書においては，教科「商業」，「情報」，「数学」及び「外国語」にそれぞれ相当する教科・科目の評定欄を点数化したうえで，評価・採点します。また，志望理由書においては，志望理由及び表現力等記載内容について，総合的に評価・採点します。	
	経済・経営・観光政策学科 (全学科等対象)	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。	
		推 薦 書	出願要件を確認するために使用します。	
		調 査 書 志望理由書	調査書においては，教科「数学」及び「外国語」にそれぞれ相当する教科・科目の評定欄を点数化したうえで，評価・採点します。また，志望理由書においては，志望理由及び表現力等記載内容について，総合的に評価・採点します。	
理学部	数 理 科 学 科	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお，資料，課題の一部は，英文で提示することがあります。	
		面 接	個人面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，志望学科への適性をみます。	
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。	
	化 学 科	小 論 文	化学に関連した資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお，資料，課題の一部は，英文で提示することがあります。	
		面 接	個人面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，志望学科への適性をみます。	
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。	
	生 物 学 科	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお，資料，課題の一部は，英文で提示することがあります。	
		面 接	個人面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，志望学科への適性をみます。	
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。	

学 部	学 科 等	教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準
農 学 部	生物資源環境科学科	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。
		面 接	個人面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，意欲的に取り組んだ活動，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，志望学科への適性をみます。
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。
	生 物 機 能 科 学 科	小 論 文	提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお，資料は，英文で提示することがあります。
		面 接	個人面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，意欲的に取り組んだ活動，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，志望学科への適性をみます。
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。
ひ と ・ ま ち 未 来 共 創 学 環		小 論 文	指示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。
		面 接	個人又は集団面接とし，面接委員数名が，志望動機，勉学意欲，質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに，本学環への適性をみます。
		調 査 書	調査書は，学習成績，生徒会活動・地域活動・ボランティア活動，留学経験等を総合的に評価・採点します。また，面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。
		推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし，面接の評価に使用します。

(注) 面接委員数名とは，2～6名です。

② 合否判定基準

学 部	学 科 等	合 否 判 定 基 準
教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース (国際理解教育選修) 幼児教育コース 特別支援教育コース 教科教育コース (数学教育選修)	小論文、面接及び志望理由書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、小論文、面接、志望理由書の順に高得点者を上位とします。
経済学部	経済・経営・政策学 観光学科	小論文及び調査書・志望理由書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、小論文の得点の高い者を上位とします。 小論文は、合格基準点を設定します。
理学部	数理学科 化学科	小論文及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、面接の点数が高い者を上位とします。
	生物学科	小論文及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、小論文の点数が高い者を上位とします。
農学部	生物資源環境科学科 生物機能科学科	小論文及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、小論文の高得点者を上位とします。 小論文は、合格基準点を設定します。
ひと・まち未来共創学環		小論文、面接及び調査書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、小論文、面接、調査書の順に高得点者を上位とします。

(4) 試験日等

学 部	試 験 日	教科等	試 験 時 間	試 験 場
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース (国際理解教育選修) 幼児教育コース 特別支援教育コース 教科教育コース (数学教育選修)	令和6年11月26日(火)	小論文 面接	9時～10時40分(100分) 11時30分～	教育学部 (山口市吉田 1677-1)
経済学部		小論文	10時～12時(120分)	経済学部 (山口市吉田 1677-1)
理学部 数理学科 化学科 生物学科		小論文 面接	9時～11時(120分) 13時～	理学部 (山口市吉田 1677-1)
農学部		小論文 面接	9時～11時(120分) 12時～	農学部 (山口市吉田 1677-1)
ひと・まち未来 共創学環		小論文 面接	9時～11時(120分) 12時～	共通教育棟 (山口市吉田 1677-1)

※試験場(キャンパス)は、巻末の交通のご案内を参照してください。

6. 合 格 発 表

令和6年12月10日（火） 10時（予定）

推薦した高等学校長に合・否の結果を通知し、合格者に合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、山口大学入試関連情報ホームページに合格者の受験番号を掲載します。（10時頃）

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うもので、合格者には合格通知書をもって正式に通知します。

山口大学入試関連情報ホームページ

U R L : <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



合・否の問い合わせには応じません。

なお、合格者の受験番号の掲示は行いません。

第3 学校推薦型選抜 II

(大学入学共通テストを課す選抜)

人 文 学 部 教 育 学 部

学校教育教員養成課程
小学校教育コース
（小学校総合選修）
（教育学選修）
情報教育コース
教科教育コース
（国語教育選修）
（社会科教育選修）
（理科教育選修）
（音楽教育選修）
（美術教育選修）
（保健体育選修）
（技術教育選修）
（家政教育選修）
（英語教育選修）

理 学 部

物理・情報科学科
地球圏システム科学科

医 学 部

保健学科

工 学 部

共同獣医学部

1. 出 願 の 要 件

推薦を行うことができる者は、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く特別支援学校校長並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の長を含みます。ただし、高等専門学校長が推薦できる者は、第3学年修了見込み者とします。

「学校推薦型選抜Ⅰ」に出願した者は「学校推薦型選抜Ⅱ」に出願できません。

学 部 等		要 件
人 文 学 部		高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 推薦できる者は、1高等学校につき2名以内。 ※推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。
教育学部	学校教育コース (小学校総合選修) (教育学選修) 情報教育コース 教科教育コース (国語教育選修) (社会科教育選修) (理科教育選修) (音楽教育選修) (美術教育選修) (保健体育選修) (技術教育選修) (家政教育選修) (英語教育選修)	【山口県小学校教員志望枠】 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、学習成績、人物ともに優れ、大学卒業後に山口県の小学校教員となる意思を有し、高等学校長が責任をもって推薦できる者*で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。 情報教育コースの出願に際しては、上記に加え数学Ⅲを履修した（もしくは履修中の）者。 注） ・小学校教育コースでは、卒業時に小学校教諭一種免許状を取得することになります。（卒業と同時に取得可能なカリキュラムとなっています。） ・情報教育コースでは、入学後は、小学校基礎（小学校教諭一種免許状の取得を目指すカリキュラム）を履修することになります。 ・教科教育コースでは、入学後は、小学校基礎（小学校教諭一種及び中学校二種免許状の取得を目指すカリキュラム）を履修することになります。
		*入学後は、小学校教員としての実践力を高める学習プログラムに参加することになります。
理学部	物 理 ・ 情 報 科 学 科	高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
	地 球 圏 シ ス テ ム 科 学 科	高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、学習成績（全体の学習成績の状況が3.5以上）、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
医学部	保 健 学 科	高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者のうち、人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
	検 査 技 術 科 学 専 攻	高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、調査書の学習成績概評がAに属する者のうち、人物が優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
工 学 部		高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。
共 同 獣 医 学 部		高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年4月1日から令和7年3月31日までに高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、調査書の学習成績概評がAに属する者のうち、学習成績、人物ともに優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学を確約できる者。

2. 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和6年12月16日（月）～12月20日（金）

①インターネット出願登録・検定料支払い期間：

12月16日（月）0時00分～12月20日（金）17時00分

出願書類を郵送する際に使用する「宛名ラベル」（インターネット出願サイト[44ページ参照]から印刷）は、検定料支払い後でなければ印刷できません。

支払い期限は、出願期間最終日の17時までですが、郵送に要する期間等も考慮のうえ、次項②に示す郵送期限内に発送できるように計画的に支払い手続きを進めてください。

②郵送期限：12月20日（金） 必着

ただし、12月19日（木）以前の発信局消印のある「特定記録郵便速達」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

なお、郵便局の窓口で「特定記録郵便物受領証」を必ず受領して、大切に保管しておいてください。

出願書類の配送状況については、この「特定記録郵便物受領証」の番号を使用して、日本郵便のホームページ上で確認できます。

(2) 出願方法及び出願書類等

44～46ページを参照してください。

(3) 受験票の印刷

45ページを参照してください。

3. 各学部の志望方法

第2志望を認めません。

4. 志願状況の情報提供について

志願状況について、下記ホームページURLに掲載いたします。

- ・学校推薦型選抜Ⅱ志願者数（確定）…… 令和6年12月下旬頃

URL：<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

5. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接の結果を総合審査します。

※小論文は共同獣医学部においてのみ行います。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科等

学 部 ・ 学 科 等		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科 目 名 等
人文学部	人 文 学 科	国 地歴 公民 数 情 外	国語 地総・地探，歴総・日探，歴総・世探，地総／歴総／公 } から 1 公・倫，公・政経，地総／歴総／公（再掲） } 数Ⅰ・数A，数Ⅰ } から 1 情Ⅰ } 英，独，仏，中，韓から 1 [4 教科 4 科目]
教育学部	学校教育コース （小学校総合選修） （教育学選修） 教科教育コース （国語教育選修） （社会科教育選修） （理科教育選修） （音楽教育選修） （美術教育選修） （保健体育選修） （技術教育選修） （家政教育選修） （英語教育選修）	国 地歴 公民 数 理 外 情	国語 地総・地探，歴総・日探，歴総・世探，地総／歴総／公 } から 1 公・倫，公・政経，地総／歴総／公（再掲） } 数Ⅰ・数A，数Ⅰ，数Ⅱ・数B・数Cから 1 物基／化基／生基／地基，物理，化学，生物，地学から 1 英，独，仏，中，韓から 1 情Ⅰ [6 教科 6 科目]
	情報教育コース	国 地歴 公民 数 理 外 情	国語 地総・地探，歴総・日探，歴総・世探，地総／歴総／公 } から 1 公・倫，公・政経，地総／歴総／公（再掲） } 数Ⅰ・数A，数Ⅰから 1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基，物理，化学，生物，地学から 1 英，独，仏，中，韓から 1 情Ⅰ [6 教科 7 科目]
理学部	物理・情報科学科	数 理 国 地歴 公民 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物理，化学，生物，地学から 1 国語 地総・地探，歴総・日探，歴総・世探，地総／歴総／公 } から 1 公・倫，公・政経，地総／歴総／公（再掲） } 英，独，仏，中，韓 情Ⅰ [4 教科 5 科目]
	地球圏システム科学科	理 国 地歴 公民 数 外 情	物基／化基／生基／地基，物理，化学，生物，地学から 1 国語 地総・地探，歴総・日探，歴総・世探，地総／歴総／公 } から 1 公・倫，公・政経，地総／歴総／公（再掲） } 数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B・数Cから 1 英，独，仏，中，韓から 1 情Ⅰ } から 2 [3 教科 3 科目]

学 部 ・ 学 科 等			大学入学共通テストの利用教科・科目名	
			教科	科 目 名 等
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 攻 専	国 数 理 外 情	国語 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B・数Cから1 物基／化基／生基／地基, 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 情Ⅰ [5教科5科目]
		検 査 技 術 科 学 専 攻	国 数 理 外 情	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物理, 生物, 地学から1 化学 英 情Ⅰ [5教科7科目]
工 学 部	機 械 工 学 科 社 会 建 設 工 学 科 応 用 化 学 科 知 能 情 報 工 学 科 感 性 デ ザ イ ン 工 学 科 循 環 環 境 工 学 科		数 理 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 情Ⅰ [4教科5科目]
	電 気 電 子 工 学 科		数 理 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物理 英 情Ⅰ [4教科5科目]
共 同 獣 医 学 部	共 同 獣 医 学 科		国 地 歴 公 民 情 数 理 外	国語 地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総／歴総／公 公・倫, 公・政経, 地総／歴総／公(再掲) } から1 情Ⅰ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 [5教科7科目]

【注意事項】

◎ 教科・科目名の表記について

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように表記しています。

●国語→国

「国語」→「国語」

●地理歴史→地歴

「地理総合, 地理探究」→「地総・地探」, 「歴史総合, 日本史探究」→「歴総・日探」,

「歴史総合, 世界史探究」→「歴総・世探」,

「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」

●公民→公民

「公共, 倫理」→「公・倫」, 「公共, 政治・経済」→「公・政経」,

「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」(再掲)

●数学→数

「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ・数A」，「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」，
「数学Ⅲ，数学B，数学C」→「数Ⅲ・数B・数C」

●理科→理

「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」→「物基／化基／生基／地基」，
「物理」→「物理」，「化学」→「化学」，「生物」→「生物」，「地学」→「地学」

●外国語→外

「英語」→「英」，「ドイツ語」→「独」，「フランス語」→「仏」，「中国語」→「中」，
「韓国語」→「韓」

●情報→情

「情報Ⅰ」→「情Ⅰ」

◎ 大学入学共通テストについて

- 受験を要する教科・科目数について，指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，高得点の教科・科目の成績を利用します。ただし，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」において，2科目を受験した場合の取り扱いについては，受験を要する科目数を1科目と指定している場合，第1解答科目の成績を利用しますので，第1解答科目は必ず志望する学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。志望する学部・学科等の指定した科目以外を第1解答科目としている場合は，その教科は利用できなくなり，その結果，出願要件を満たさないことがありますので，注意してください。
- 「英語」は，リーディング（100点）及びリスニング（100点）を，リーディング（160点）リスニング（40点）に換算した，200点を満点として利用します。なお，「英語」のリーディングは受験し，リスニングを受験しなかった場合は，リスニングは0点とし，リーディングの得点を160点満点に換算して利用します。ただし，「英語」のリスニングを免除された者については，リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

(2) 教科等及びその他の配点

学部・学科等		試験区分	教 科 等								出 願 書 類			計	合計
			国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外国語	情 報	小論文	面 接	調査書	推薦書	志 望 理由書		
人文学部	人 文 学 科	共通テスト ^{*1}	200	100	* 100		200	* 100						600	700
		個別学力検査								100				100	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース (小学校総合選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,250
			個別学力検査							400	100			500	
		小学校教育コース (教育学選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		情報教育コース	共通テスト	200	100	200	100	200	50					850	1,250
			個別学力検査							200	200			400	
		教科教育コース (国語教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		教科教育コース (社会科教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		教科教育コース (理科教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		教科教育コース (音楽教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,250
			個別学力検査 ^{*2}							400	100			500	
		教科教育コース (美術教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査 ^{*3}							200	100			300	
		教科教育コース (保健体育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,150
			個別学力検査							200	200			400	
		教科教育コース (技術教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		教科教育コース (家政教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
		教科教育コース (英語教育選修)	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	1,050
			個別学力検査							200	100			300	
理学部	物 理 ・ 情報科学科	共通テスト ^{*4}	* 100	* 100	200	200	* 100	50						550	650
		個別学力検査								100				100	
	地球圏シ ステム科学科	共通テスト ^{*5}	* 250	* 250	* 250	250	* 250	* 250						750	1,200
		個別学力検査								450				450	
医学部	保 健 看護学専攻 学科	共通テスト	150		100	150	200	50						650	950
		個別学力検査								200	100			300	
	検 査 技術科学専攻 学科	共通テスト	100		200	200	100	50						650	950
		個別学力検査								200	100			300	
工学部	機械工学科 社会建設工学科 応用化学科 知能情報工学科 感性デザイン工学科 循環環境工学科	共通テスト			200	100	200	50						550	650
		個別学力検査								100				100	
	電 気 電 子 工 学 科	共通テスト ^{*6}			200	100	200	50						550	650
					300	100	100	50							
					100	300	100	50							
					100	100	300	50							
		個別学力検査								100				100	
共同獣医学部	共 同 獣 医 学 学 科	共通テスト ^{*7}	200	* 100	200	200	300	* 100						1,000	1,400
		個別学力検査							200	200				400	

- ※1 人文学部の大学入学共通テストで*の付された教科等は選択科目です。「数学」または「情報」から1科目選択してください。（「数学」、「情報」から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。）
- ※2 教育学部音楽教育選修の面接には実技を含みます。詳細は、(3) 個別学力検査等についてを参照してください。
- ※3 教育学部美術教育選修の面接では、美術に関する自身の過去作品の写真を持参してください。詳細は、(3) 個別学力検査等についてを参照してください。
- ※4 理学部物理・情報科学科の大学入学共通テストで*の付された教科等は、選択科目です。「国語」、「地歴」、「公民」、「外国語」から1科目選択してください。（「国語」、「地歴」、「公民」、「外国語」から2科目以上受験した場合は、36ページを適用します。）
- ※5 理学部地球圏システム科学科の大学入学共通テストで*の付された教科等は、選択科目です。「国語」、「地歴」または「公民」、「数学」、「外国語」もしくは「情報」から2教科2科目選択してください。（「国語」、「地歴」、「公民」、「数学」、「外国語」、「情報」から2教科2科目を超えて受験した場合は、36ページを適用します。）
- ※6 工学部電気電子工学科の大学入学共通テストの4パターンは、大学入学共通テスト配点の550点に対し、最大となるパターンを自動で選択します。
- ※7 共同獣医学部の大学入学共通テストで*の付された教科等は選択科目です。「地歴」、「公民」、「情報」から1科目選択してください。（「地歴」、「公民」、「情報」から2科目以上受験した場合は、36ページを適用します。）

(3) 個別学力検査等について

① 教育学部音楽教育選修

ピアノによる弾き歌い、ソルフェージュを行います。

i) 弾き歌い

課題曲より1曲を選択し、ピアノで伴奏をしながら主旋律を歌う。暗譜でなくても構わない。

〔課題曲〕（調は自由とする）

- ・いのちの歌 Miyabi 作詞／村松崇継 作曲
- ・Believe 杉本竜一 作詞／杉本竜一 作曲
- ・花 武島羽衣 作詞／滝廉太郎 作曲

ii) ソルフェージュ（新曲視唱）

課題を予見後、手拍子を打ちながら旋律を歌う。

② 教育学部美術教育選修

〈面接時の持参物について〉

高等学校における美術に関する自身の作品写真を、印刷又は用紙に貼り付け、A4サイズの作品ファイル1冊にまとめて面接時に持参してください。作品ファイル1冊に収まる範囲であれば、作品写真のサイズや枚数に制限はありません。ただし、志願者自身によって試験場建物内で移動させることができるサイズ・重量であれば、代表作品1点の原物を作品ファイルとあわせて持参しても構いません。

(4) 採点・評価基準及び可否判定基準

① 採点・評価基準

学 部	学 科 等	教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準
人文学部	人 文 学 科	面 接	個人面接とし、面接委員数名で人文学部への適性を評価・採点します。面接点は、調査書の各教科の学習成績の状況を含めて、総合的に評価します。
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	面 接	個人又は集団面接とし、面接委員数名が適性を評価・採点します。志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力等を総合的に評価します。
		調 査 書	調査書の各教科の学習成績の状況を含めた学習成績、外国語資格・検定等の取得状況、課外活動等（各種競技会、コンクール等を含む）における入賞歴・役割、その他生徒会活動・地域活動・ボランティア活動、留学経験等を総合的に評価・採点します。 なお、臨時休業や大会、資格・検定試験等の中止等により記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載してください。
		推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。
理学部	物 理 ・ 情 報 科 学 科	面 接 調 査 書	個人又は集団面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。 なお、基礎的な学力を問うことがあります。 調査書は、各教科の学習成績の状況及び英語の資格・検定等の取得状況を含めて、総合的に評価します。
		推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。
	地球圏システム科学科	面 接	個人面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。
医学部	保 健 学 科	面 接	個人又は集団面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。
		調 査 書	学習成績、外国語資格・検定等の取得状況、課外活動等（各種競技会コンクール等を含む）における入賞歴・役割、その他生徒会活動・地域活動・ボランティア活動及び出席状況等を総合的に評価・採点します。 なお、臨時休業や大会、資格・認定試験等の中止等により記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載してください。
		推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。

学 部	学 科 等	教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準
工 学 部	全 学 科	面 接 調 査 書	個人又は集団面接とし、面接委員数名が志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。 なお、基礎的な学力を問うことがあります。 調査書は、各教科の学習成績の状況及び英語の資格・検定等の取得状況を含めて、総合的に評価します。
		推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。
共同獣医学部	共 同 獣 医 学 科	小 論 文	提示された資料、課題に対する理解力、分析力、論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお、資料は、英文で提示することがあります。
		面 接	集団面接とし、面接委員数名が志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。
		調 査 書 推 薦 書 志望理由書	面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。

(注) 面接委員数名とは、2～6名です。

② 合否判定基準

学 部	学 科 等	合 否 判 定 基 準
人文学部	人 文 学 科	大学入学共通テスト及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テスト、面接の順に高得点者を上位とします。
教育学部	学校教育コース (小学校総合選修) (教育学選修) 情報教育コース 教科教育コース (国語教育選修) (社会科教育選修) (理科教育選修) (音楽教育選修) (美術教育選修) (保健体育選修) (技術教育選修) (家政教育選修) (英語教育選修)	大学入学共通テスト、面接及び調査書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの順に高得点者を上位とします。 教育学選修、情報教育コース、社会科教育選修、理科教育選修、家政教育選修、英語教育選修は、総得点に合格基準点を設定します。 国語教育選修は、大学入学共通テストに合格基準点を設定します。 音楽教育選修、美術教育選修は、面接に合格基準点を設定します。 保健体育選修は、大学入学共通テスト、面接、調査書それぞれに合格基準点を設定します。
理学部	物 理 ・ 情 報 科 学 科	大学入学共通テスト及び面接・調査書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テスト、面接・調査書の順に高得点者を上位とします。 大学入学共通テストに合格基準点を設定します。
	地球圏システム科学科	大学入学共通テスト及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、面接の点数が高い者を上位とします。
医学部	保 健 学 科	大学入学共通テスト、面接及び調査書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テスト、面接、調査書の順に高得点者を上位とします。 ただし、面接点が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。
工学部	全 学 科	大学入学共通テスト及び面接・調査書の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テスト、面接・調査書の順に高得点者を上位とします。 大学入学共通テストに合格基準点を設定します。
共同獣医学部	共 同 獣 医 学 科	大学入学共通テスト、小論文及び面接の合計点で合否を判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テスト、面接、小論文の順に高得点者を上位とします。

(5) 試験日等

学 部			試 験 日	教科等	試 験 時 間	試 験 場	
人 文 学 部			令和7年 1月23日(木)	面 接	9 時 ～	人文学部 (山口市吉田 1677 - 1)	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース (小学校総合選修) (教育学選修) 情報教育コース 教科教育コース (国語教育選修) (社会科教育選修) (理科教育選修) (音楽教育選修) (美術教育選修) (保健体育選修) (技術教育選修) (家政教育選修) (英語教育選修)		面 接	9 時 ～	教育学部 (山口市吉田 1677 - 1)	
		理学部		物理・情報科学科 地球圏システム科学科	面 接	9 時 ～	理学部 (山口市吉田 1677 - 1)
		医学部		保健学 科	面 接	9 時 ～	医学部 (宇部市南小串 1 - 1 - 1)
		工 学 部		面 接	9 時 ～	工学部 (宇部市常盤台 2 - 16 - 1)	
共 同 獣 医 学 部				小論文 面 接	9 時 ～11時 (120分) 12時 ～	共同獣医学部 (山口市吉田 1677 - 1)	

※試験場（キャンパス）は、巻末の交通のご案内を参照してください。

6. 合 格 発 表

令和7年2月12日（水） 10時（予定）

推薦した高等学校長に合・否の結果を通知し、合格者に合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、山口大学入試関連情報ホームページに合格者の受験番号を掲載します。（10時頃）

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うもので、合格者には合格通知書をもって正式に通知します。

山口大学入試関連情報ホームページ

U R L : <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



合・否の問い合わせには応じません。

なお、合格者の受験番号の掲示は行いません。

第4 共 通 事 項

1. 出 願 方 法

① アカウントの作成

山口大学インターネット出願サイトにアクセスしてください。

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>

氏名，メールアドレス等の基本情報を入力し，本登録のためのアカウントを作成します。

登録が完了すると，アカウント作成時に登録したメールアドレス（※）にアカウント情報が届きます。

※今後，この登録メールアドレス宛に大学から必要な情報を送信しますので，随時着信を確認できるメールアドレスを登録してください。

また，出願サイト上で登録いただく電話番号宛てに大学から連絡する場合がありますので，45ページ「郵送先」に記載の電話番号（志望する学部のみで構いません）を自身の携帯電話機に登録してください。

② 出願に必要な基本情報を登録する

インターネット出願サイトの表示に従って出願に必要な情報を入力し，その内容を確認してください。

証明写真は，インターネット出願サイトからアップロードします。スマートフォンやデジタルカメラで撮影したデジタル写真を準備してください。

③ 検定料の支払い方法を選択し支払う

インターネット出願サイトで入学検定料の支払い方法を選択してください。

検定料は，17,000円，別途手数料（550円）が必要です。

支払期間内に必ず決済を完了させてください。

【クレジットカード】

VISA, MasterCard, JCB, American Express, Diners Club

【コンビニ】

セブンイレブン，ローソン，ファミリーマート，ミニストップ，セイコーマート，
デイリーヤマザキ

【金融機関 ATM（Pay-easy）】

Pay-easy マークがついている金融機関の ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」または「Pay-easy」を選択し，手続きしてください。

④ 出願書類の送付

提出が必要な書類（46ページ 2. 出願書類等）一式を同封し，[特定記録郵便速達で](#)，[郵送](#)してください。

インターネット出願サイトから封筒貼付用「宛名ラベル」を印刷し，封筒の表（宛名）面に貼付してください。

※宛名ラベルは検定料支払い後でなければ印刷できません。

⑤ 受験票の印刷

受験票の印刷が可能になり次第，登録したメールアドレスにメッセージが送付されます。

受験票は，インターネット出願サイトから各自で印刷してください。

郵 送 先

志望学部	提 出 先	所 在 地	連 絡 先
人 文 学 部	山口大学 人文学部入試担当係	〒753 -8540	電 話 (083) 933-5209 F A X (083) 933-5214 E-mail: h-gakumu@yamaguchi-u.ac.jp
教 育 学 部	山口大学 教育学部入試担当係	〒753 -8513	電 話 (083) 933-5307 F A X (083) 933-5468 E-mail: info-g@yamaguchi-u.ac.jp
経 済 学 部	山口大学 経済学部入試担当係	〒753 -8514	電 話 (083) 933-5506 F A X (083) 933-5509 E-mail: ecgakumu@yamaguchi-u.ac.jp
理 学 部	山口大学 理学部入試担当係	〒753 -8512	電 話 (083) 933-5210 F A X (083) 933-5768 E-mail: rigaku-g@yamaguchi-u.ac.jp
医 学 部	山口大学 医学部入試担当係	〒755 -8505	宇部市南小串1-1-1 電 話 (0836) 22-2134 (保健学科) F A X (0836) 22-2059 E-mail: gakumu@yamaguchi-u.ac.jp
工 学 部	山口大学 工学部入試担当係	〒755 -8611	宇部市常盤台2-16-1 電 話 (0836) 85-9009 F A X (0836) 85-9019 E-mail: en304@yamaguchi-u.ac.jp
農 学 部	山口大学 農学部入試担当係	〒753 -8515	山口市吉田1677-1 電 話 (083) 933-5811 F A X (083) 933-5812 E-mail: aggakmu@yamaguchi-u.ac.jp
共同獣医学部	山口大学 共同獣医学部入試担当係		電 話 (083) 933-5808 F A X (083) 933-5812 E-mail: vegakumu@yamaguchi-u.ac.jp
ひと・まち 未来共創学環	山口大学 ひと・まち未来共創学環 設置準備室	〒753 -8511	山口市吉田1677-1 電 話 (083) 933-5076 F A X (083) 933-5013 E-mail: cci@yamaguchi-u.ac.jp

注 意 事 項

(1) 出願期間内に①～④まで行わなければ出願は完了しません。

(2) 検定料の支払後は，入力事項の変更はできません。

訂正を希望する場合は，出願書類提出前に下記連絡先まで連絡してください。

山口大学学生支援部入試課 電話 (083) 933-5153

E-mail nyushi@yamaguchi-u.ac.jp

(3) インターネット出願の操作等に関する質問は，次の連絡先に問い合わせてください。

インターネット出願 ヘルプデスク	対応期間 —— 学校推薦型選抜Ⅰ —— 令和6年11月1日(金)～11月7日(木) 10時00分～17時00分	電話 (03) 3830-0287
	—— 学校推薦型選抜Ⅱ —— 令和6年12月16日(月)～12月20日(金) 10時00分～17時00分	

2. 出 願 書 類 等

成績請求票 (学校推薦型選抜Ⅱ用) (学校推薦型選抜Ⅱの志願者のみ)	成績請求票(学校推薦型選抜Ⅱ用)をインターネット出願サイトからA4サイズで印刷し、必要事項を記入してください。また、所定の欄に、令和7年度大学入学共通テスト成績請求票(国公立推薦型選抜用)を貼ってください。 出願時に、成績請求票(大学入学共通テスト受験票)が届いていない場合には、インターネットでの出願情報登録時に下記連絡先に連絡し、本学の指示に従って登録した後、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と記入して出願してください。なお、成績請求票は到着次第、45ページ「郵送先」に持参又は郵送(特定記録郵便速達)してください。 山口大学学生支援部入試課 電話 (083) 933-5153 E-mail nyushi@yamaguchi-u.ac.jp
調 査 書	文部科学省所定の様式により、推薦する高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 教育学部教科教育コース保健体育選修においては、入賞歴について、それを証明する書類等(賞状等の写し)を添付するとともに、正選手と補欠の別も記載してください。また、高校3年生時点の文部科学省スポーツテストの総合判定についても記載してください。3年生時の記録がなければ、高校2年生時、2年生時の記録がなければ高校1年生時の総合判定を記載してください。 経済学部①高等学校の商業に関する学科等対象に示された各種資格については、調査書の所定の欄に記入してください。合格証明書(写)等の提出は必要ありません。
推 薦 書	各学部所定の用紙を本学入試課ホームページ(https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html)の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」からダウンロードし、推薦する高等学校長がA4サイズで作成し、厳封したものを提出してください。
志 望 理 由 書	各学部所定の用紙を本学入試課ホームページ(https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html)の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」からA4サイズで印刷し、本人が記入し提出してください。

3. 個人情報の利用について

本選抜において出願の際に提出いただいた出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に関わる業務のほか下記の業務に利用します。なお、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学前教育及び入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。

- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テスト受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。
- (6) その他、本法人の定める「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」※に従って個人情報を利用します。

※「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」は、山口大学のホームページでご覧いただけます。

URL：https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyyouhou/personal/policy/guide_student.html

4. 検定料の返還

- (1) 次に該当した場合は納付済の検定料を全額又はその一部を返還します。ただし、返還時の振込手数料は受取人負担となります。
- (ア) 検定料を納付済であるが山口大学に出願しなかった場合
- (イ) 検定料を誤って二重に納付した場合又は誤って所定の金額より多く納付した場合
- (ウ) 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合
- (2) 返還請求の方法

上記(ア)又は(イ)に該当した場合は、出願手続期間終了後に「検定料払戻請求書」用紙を送付しますので、必要事項を記入のうえ下記の問い合わせ先へ郵送してください。

また、上記(ウ)の場合は、出願書類等返却の際に「検定料払戻請求書」用紙を同封しますので、必要事項を記入のうえ下記の問い合わせ先へ郵送してください。

検定料返還に関する 問 い 合 わ せ 先	〒753-8511 山口市吉田1677-1 山口大学財務部財務課出納係 電話 (083) 933-5098
--------------------------	--

※財務部財務課出納係では、検定料返還に関する問い合わせのみを受け付けます。
入学試験に関することは、45ページ「郵送先」へ直接問い合わせてください。

5. 注 意 事 項

- (1) 出願書類に虚偽の記入をした者は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 出願書類等に記載事項の記入もれや誤記がある場合は、受理しないことがあります。
- (3) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。また、出願書類等の記載事項の変更も認めません。
- (4) 出願に関して問い合わせをする場合は、志望する学部の入試担当係（45ページ「郵送先」）に照会してください。

6. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では、障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っています。相談を希望する者は、受験上及び修学上必要な配慮について協議いたしますので、次ページの様式を用いて、出願受付開始1ヶ月前までに志望する学部の入試担当係へ申し出てください（志望学部の申出先は45ページ「郵送先」を参照してください）。

- 相談内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願の予定があればできるだけ早い時期に相談してください。相談後に出願されなくても差し支えありません。
- 出願受付開始1ヵ月前までに申し出がなかった場合は、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

なお、修学上の配慮についての詳細は、入学後に改めて協議いたします。

下の表は、事前相談が必要と思われる場合の目安です。受験に際して、配慮や支援機器等の使用を希望する場合は、事前相談が必要になります。下の表から判断できない場合や不明な場合等は、お問い合わせください。

表：事前相談の目安

区 分	障 害 の 程 度	受験上の対応実績
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力が0.3以下の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	・拡大鏡の持参使用 ・卓上ライトの貸出 ・座席の配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 等
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	・補聴器の持参使用 ・注意事項の文書伝達 ・座席配慮 等
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・上肢の機能障害により筆記をすることができない者又は困難な者 ・下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	・車いす・松葉杖等の持参使用 ・試験室までの移動に関する配慮 ・座席配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
④ 病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・車いす・松葉杖等の持参使用 ・試験室までの移動に関する配慮 ・座席配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
⑤ 発 達 障 害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため、配慮を必要とする者	・注意事項の文書伝達 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
⑥ そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者	

事前相談様式

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当） 殿

フリガナ
氏 名
性 別
住 所 〒
電話番号
出身学校名

事前相談書

山口大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科（課程，コース）及び入試種別（例：人文学部・人文学科・学校推薦型選抜Ⅱ）
 2. 障害等の種類，程度
 3. 受験上の配慮を希望する事項
 4. 修学上の配慮を希望する事項
 5. 高等学校等における生活状況等（主として授業関係）
 6. その他
 7. 添付書類
 - ・ 医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し
- ※配慮の根拠を示す書類として、いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。
- ・ 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写し）（大学入試センターに申請し通知書が手元にある者）
 - ・ その他相談する際に必要と思われる参考資料

（注1）相談を希望する者として、受験者本人を想定しています。事前相談書は、受験者本人が記載することを推奨いたします。内容を本人がご確認のうえ、ご相談ください。

（注2）「3. 受験上の配慮を希望する事項」、「4. 修学上の配慮を希望する事項」及び「5. 高等学校等における生活状況等」は、できるだけ具体的に記載してください。

7. 受験上の注意

※山口大学受験票はインターネット出願サイトで印刷してください。また、各学部からの連絡事項も掲載していますので、確認してください。

1. 指定された試験場（キャンパス）以外での受験は認めませんので、**試験場（キャンパス）を間違えないよう**注意してください。
2. 受験の際は、「**山口大学受験票**」を常に携帯し、試験中は机の上に置いてください。
また、学校推薦型選抜Ⅱの志願者は、「**令和7年度大学入学共通テスト受験票**」を併せて携帯し、机の上に置いてください。
なお、入学手続の際も必要となりますので、受験後も大切に保管しておいてください。
3. **学力検査等開始時刻20分前**までに所定の試験室に入り、本学の受験票の受験番号と同一番号の席に着いてください。ただし、各学部からの連絡事項において、別途、受付時間等の指定がある場合はそちらに従ってください。
4. 学力検査等開始時刻に遅刻した場合は、開始時刻後20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、開始時刻後20分を経過した場合は、疾病等いかなる理由にかかわらず当該教科等の受験はできません。
5. 試験中は、監督者の許可がなければ試験室へ出入りすることができません。
6. 机の上には受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬以外のものを置いてはいけません。
なお、机の上に置けるこれらのものが箱またはケース等に入っている場合は、中身だけを取り出して置いてください。
また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験開始後、試験が終了するまで、通信機器を所持していることが判明した場合には、不正行為として取り扱います。
7. 試験の開始、終了及びその他の事項等は、すべて監督者の指示に従ってください。
8. 自分のゴミは、各自で持ち帰ってください。
9. **試験前日及び当日の自動車、バイクの構内駐車はご遠慮ください。公共交通機関を利用してください。**
10. 受験者の宿泊については本学ではあつ旋していません。
11. 問い合わせ先 山口大学学生支援部入試課 電話（083）933－5153

要注意!!

合否の結果通知について駅や大学周辺にて勧誘行為が多発しています。
山口大学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

8. 入 学 手 続

合格者は、入学手続書類を入学手続期間内に必ず届くよう特定記録郵便速達で郵送してください。入学料の納付のみでは、入学手続は完了となりません。

(1) 入学手続期間

① 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

教 育 学 部 学校教育教員養成課程 小 学 校 教 育 コー ス （国際理解教育選修） 幼 児 教 育 コー ス 特別支援教育コース 教 科 教 育 コー ス （数学教育選修） 経 済 学 部 理 学 部 数 理 科 学 科 化 学 科 生 物 学 科 農 学 部 ひと・まち未来共創学環	令和6年12月16日（月）～12月19日（木）
---	-------------------------

② 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

人 文 学 部 教 育 学 部 学校教育教員養成課程 小 学 校 教 育 コー ス （小学校総合選修） （教 育 学 選 修） 情 報 教 育 コー ス 教 科 教 育 コー ス （国語教育選修） （社会科教育選修） （理科教育選修） （音楽教育選修） （美術教育選修） （保健体育選修） （技術教育選修） （家政教育選修） （英語教育選修） 理 学 部 物理・情報科学科 地球圏システム科学科 医 学 部 保 健 学 科 工 学 部 共 同 獣 医 学 部	令和7年2月14日（金）～2月19日（水）
--	-----------------------

(2) 入学手続に必要なもの

入 学 料	282,000円（予定額）
写 真	2枚（4cm×3cm） ※1枚は学生証写真用です。高等学校等の制服以外の服装で撮影したものをご用意ください。
入 学 届・ 宣 誓 書	合格発表時に送付します。
身 上 報 告 書	
入 学 料 払 込 票	
自 動 払 込 利 用 申 込 書	
承 諾 書	令和7年度大学入学共通テスト受験票（学校推薦型選抜Ⅰは除く） 及び山口大学受験票
そ の 他	

(3) 留 意 事 項

- ① 合格者は、次の②により入学辞退の許可を得た場合を除いて、いずれの国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ② 合格者が特別の事情により入学を辞退する場合は、推薦した高等学校長が連署し理由を付した「入学辞退願」（様式は特に定めません。）を入学手続期間内に本学学長へ提出し、その許可を得なければなりません。
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。この場合、②により入学辞退を許可した場合を除き、いずれの国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ④ 出願資格が見込みであった者が、令和7年3月31日までに出願要件を満たさなかった場合は、入学することができません。

9. 一般選抜の出願について

学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、いずれの国公立大学・学部にも出願することができます。

10. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入 学 料（入学手続時に納付）	282,000円（予定額）
授 業 料（入学後に納付）	前期分 267,900円（予定額） 後期分 267,900円（予定額）

- (注) 1. 本募集要項公表後、令和7年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納付されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。
2. 在学中の授業料の納付は、入学手続時にゆうちょ銀行へ提出する自動払込利用申込書（入学手続書類とともに郵送します。）に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日曜の場合は、その前の平日）に、ゆうちょ銀行の学生（又は学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし、大学に納付することとなります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。
3. 自動払込利用申込書の作成手続は、ゆうちょ銀行に学生（又は学資負担者）名義の口座を開設（既に口座がある場合はその口座を使用します。）し、ゆうちょ銀行へ提出することとなります。
4. 入学料及び授業料の免除を希望する者は、53ページを参照してください。（授業料免除の申請を行う場合も自動払込利用申込書の提出が必要となります。）
5. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

以上のほか納付手続の詳細は、合格通知書とともに送付します。

(2) 諸 経 費

学 部 項 目	人文	教育	経済	理	医 保健	工	農	共同獣医 ※ 4	ひと・まち 未来共創学環
学生健康保険組合費	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 15,000	円 10,000
※ 2 学生教育研究 災害傷害保険料	4,660	4,660	4,660	4,660		4,660	4,660	6,840	4,660
学 研 災 付 帯 学 生 生 活 総 合 保 険									
総合補償制度「Will」 (タイプ「Will 2」)					18,000				
後 援 会 費	20,000	20,000	30,000 (学会費含む)	30,000	50,000	20,000	40,000	60,000	※ 7 —
同 窓 会 費	10,000	20,000	20,000 (入会積立金)	15,000	20,000	※ 3 初年度 25,000 (4年間合計 100,000円)	10,000	10,000	※ 7 —
計	44,660	54,660	64,660	59,660	98,000	59,660	64,660	91,840	14,660

※ 1 表の金額は、令和 6 年度の実績です。

※ 2 学生教育研究災害傷害保険料は、学研災付帯賠償責任保険を含みます。なお、学研災付帯学生生活総合保険に加入される方は、別途保険料が必要です。

※ 3 工学部の同窓会費(終身会費100,000円)は、一括または分割(半期ごとに12,500円、4年間で計8回)による払い込みになります。

※ 4 共同獣医学部では上記の諸経費の他に、講義、演習及び実験・実習に伴う必要な交通費・宿泊費など自己負担が発生する場合があります。

※ 5 山口大学から海外に留学する場合、留学保険や危機管理サービスへ加入するための費用が必要になります。(留学期間等により金額は異なります。)

※ 6 その他教材費として教科書、参考書、実験・実習経費及び TOEIC 受験料等の経費が必要になります。

※ 7 ひと・まち未来共創学環の後援会及び同窓会に関しては、設置に関して検討していますので、詳細が決定しましたらお知らせします。

上記諸経費の他に、全ての学部・学科等で入学時にノートパソコンのご準備を推奨しております。これは、「高度情報社会に対応できる人材の育成」の観点から、情報処理教育や TOEIC 等の学習などでパソコンを使用する環境を本学が提供しているためです。

学部により機種は異なりますが、学内に部会を組織し、毎年 3 月頃に学部ごとに推奨機種を決定しています。これまでは、おおむね120,000～180,000円程度のものが選定されています。

なお、選定された機種はあくまでも推奨機ですので、授業等において必要な機能を有するものであれば、既にお持ちの機種等をお使いになっても構いません。

11. 入試成績の情報開示について

学校推薦型選抜の成績は、受験者本人からの申請に基づき、開示を行います。

開示を希望する受験者は、本学が指定する期間に、入試情報開示申請書(本学様式)に本学受験票を添付し、開示申請を行ってください。詳細については、令和 7 年 4 月中旬頃に山口大学入試関連情報ホームページに掲載する予定です。

山口大学入試関連情報ホームページ

URL <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

12. 入学料及び授業料の免除制度

(1) 高等教育修学支援新制度(給付奨学金・入学料免除・授業料免除)

住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯の日本人の学部学生は、世帯の所得金額に基づいて決定された区分に応じて奨学金(日本学生支援機構給付奨学金)が給付され、併せて授業料及び入学料が減免されます。

① 入学料免除・授業料免除の申請を行うことができる方

ア 日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者となった方

イ 出身高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金の申し込みを行い、選考中の方

ウ 大学に入学後、日本学生支援機構の給付奨学金申し込みを行う予定である方

② 申請方法

日本学生支援機構の給付奨学金への申し込みのほか、入学手続きの際に、別途、本学に入学料及び授業料の免除を申請する必要があります。詳細については、合格時に郵送される「入学の手引」でお知らせします。

免除の申請をした方は免除決定の日まで授業料及び入学料の納入が猶予されます。

免除の許可・不許可については、高等教育修学支援新制度の支援区分に応じて認定し、結果を通知します。不許可または一部免除の方は、本学が指定する期間に所定の金額を納入しなければなりません。納入しなかった場合、除籍となり、大学に在籍できなくなりますので注意してください。

(2) 特別待遇学生制度

特別待遇学生制度とは、本人の申請に基づかず、在学中の学業成績が特に優れ、かつ、人物優秀であると認められる学生を、学部等の長の推薦に基づき各学部等の各学年から選考し、各期分の授業料を半額免除する制度です。

ただし、1年生については後期分から選考し、特別待遇学生制度を適用します。

なお、特別待遇学生制度の内容については、在学中に変更される場合があります。

(3) 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係 電話 (083) 933-5611

13. 山口大学基金七村奨学金

経済的理由で修学に専念することが困難で学力優秀な学生の学生生活を支援するための返還を必要としない奨学金を給付します。

ア 概要

給付金額 月額70,000円×9ヶ月分（8月、9月、3月を除く）、年額630,000円

対象者 令和7年度入学者で学力が優秀であり、生計維持者の収入または所得が本学で定める基準に該当する者

支援期間 所属する学部の修業年限の期間

募集人数 10名以内

イ 申請手続及び書類申請方法

申請手続及び書類申請方法については、合格時に郵送される「入学の手引」に記載する予定です。

14. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について

山口大学では、大規模自然災害により被災した受験生の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入学試験の志願者で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。

検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

記

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼，全流失含む。），大規模半壊，半壊（半焼含む。），浸水等の被害を受けた場合
2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件の対象となる入学試験は、災害発生後に実施される入学試験になります。

期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間が対象となります。

詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話（083）933－5153

15. 学生寮及びアパート等

(1) 学 生 寮

令和7年4月からの入寮者募集を下記のとおり予定しています。なお、令和7年度学生寮募集要項（新入生用）の公開は、令和7年1月上旬を予定しています。

また、今後の学生寮の詳細情報については、ホームページで随時ご案内します。

URL：<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/gaku-seikatsu-useful-information/residence/gakuseiryoku/index.html>

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→「キャンパスライフを知りたい」
→「学生寮」へ進んでください。



① 募集人員等

対 象 学 生	学 部 新 入 生			
寮 名 等	吉田寮 1 号棟 (男子)	吉田寮 2 号棟 (男子)	榎野寮 1 号棟 (女子)	榎野寮 2 号棟 (女子)
所 在 地	山口市吉田1677-1			
居 室	1 人部屋, 約14㎡	1 人部屋, 約18㎡	1 人部屋, 約14㎡	1 人部屋, 約18㎡
収 容 定 員	176人	130人	89人	69人
募 集 人 員	未定	未定	未定	未定
寄 宿 料 (月額)	16,500円	24,300円	16,500円	24,300円
入 寮 費 (入寮時のみ)	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
諸 経 費 (月額)	500円	500円	500円	500円
居 室 設 備	バス, トイレ, ミニキッチン, エアコン, クローゼット, 下駄箱, 吊り本棚, 机, ベッド, 照明器具 (蛍光灯), カーテンレール (2連)			

② 申請方法等

ア. 申請期間

令和 7 年度学生寮募集要項 (新入生用) において公表します。

※申請期間が試験日及び合格発表の期日と前後する場合がありますので、公表後早めにご確認してください。

イ. 募集要項

「山口大学ホームページ (受験生の方)」→「キャンパスライフを知りたい」→「学生寮」に掲載します。(令和 7 年 1 月上旬掲載予定)

ウ. 選考方法

入寮の選考は, 保護者等の経済的困窮度 (所得や家庭状況等) 等を総合的に判断します。

エ. 入寮選考結果発表

令和 7 年度学生寮募集要項 (新入生用) において発表方法等を公表します。

③ 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課支援企画係 電話 (083) 933-5074・5152

(2) アパート等紹介

本学 (吉田キャンパス) 周辺には多数のアパート等があり, これらの紹介は, 山口大学生生活協同組合や不動産業者等で行っています。

① 紹介物件

家賃は地域, 建物の築年数, 設備等により異なりますが, 吉田地区においてはおおむね下記のとおりになっています。

6 帖 (一部共同) 10,000 ～ 30,000円程度

各室バス・トイレ・キッチン付 17,000 ～ 50,000円程度

なお, 敷金は 0 ～ 2 ヶ月分, 礼金は 0 ～ 1 ヶ月分, 仲介手数料は 0 ～ 1 ヶ月分 + 消費税の家賃相当額を必要とします。

② 問い合わせ先

山口大学生生活協同組合 電話 (083) 933-0615

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認（重要）

1. 学校推薦型選抜Ⅱを受験する者が、各学部、学科、専攻が指定する令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験しなかった場合は、本学の個別学力検査等を受験することができません。

各学部、学科等が指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目については、34～36ページを参照してください。

2. 出願にあたっては、学部・学科等が指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を、必ず各自で確認のうえ、表の「本人確認欄」に○を付け、出願する学部・学科等の「本人確認欄」にすべて○印が付いたことを確認してから出願してください。

なお、この確認票は提出する必要はありません。

学部	学 科 等		受験を要する教科・科目		本 人 確認欄
			教科	科 目	
人文学部	人文学科 (4教科4科目)		国	国語	
			地歴 公民	地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総／歴総／公 } から1 公・倫, 公・政経, 地総／歴総／公 (再掲)	
			数 情	数Ⅰ・数A, 数Ⅰ } から1 情Ⅰ	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース (小学校総合選修) (教育学選修)	国	国語	
		教科教育コース (国語教育選修) (社会科教育選修) (理科教育選修) (音楽教育選修) (美術教育選修) (保健体育選修) (技術教育選修) (家政教育選修) (英語教育選修) (6教科6科目)	地歴 公民	地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総／歴総／公 } から1 公・倫, 公・政経, 地総／歴総／公 (再掲)	
			数	数Ⅰ・数A, 数Ⅰ, 数Ⅱ・数B・数Cから1	
			理	物基／化基／生基／地基, 物理, 化学, 生物, 地学から1	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	
			情	情Ⅰ	
		情報教育コース (6教科7科目)	国	国語	
			地歴 公民	地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総／歴総／公 } から1 公・倫, 公・政経, 地総／歴総／公 (再掲)	
			数	数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	
			理	物基／化基／生基／地基, 物理, 化学, 生物, 地学から1	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	
			情	情Ⅰ	

学部	学 科 等		受験を要する教科・科目		本 人 確認欄
			教科	科 目	
理 学 部	物理・情報科学科 (4教科5科目)		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	
			理	物理, 化学, 生物, 地学から1	
			国 地歴 公民 外	国語 地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公 公・倫, 公・政経, 地総/歴総/公(再掲) 英, 独, 仏, 中, 韓 } から1	
			情	情Ⅰ	
	地球圏システム科学科 (3教科3科目)		理	物基/化基/生基/地基, 物理, 化学, 生物, 地学から1	
			国 地歴 公民 数 外 情	国語 地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公 } から1 公・倫, 公・政経, 地総/歴総/公(再掲) 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B・数Cから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 情Ⅰ } から2	
医 学 部	保 健 学 科	看護学専攻 (5教科5科目)	国	国語	
			数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B・数Cから1	
			理	物基/化基/生基/地基, 物理, 化学, 生物, 地学から1	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	
			情	情Ⅰ	
	検 査 技 術 科 学 専 攻 (5教科7科目)		国	国語	
			数	数Ⅰ・数A	
				数Ⅱ・数B・数C	
			理	物理, 生物, 地学から1	
				化学	
			外	英	
			情	情Ⅰ	

学部	学 科 等	受験を要する教科・科目		本 人 確認欄
		教科	科 目	
工 学 部	機械工学科 社会建設工学科 応用化学科 知能情報工学科 感性デザイン工学科 循環環境工学科 (4教科5科目)	数	数Ⅰ・数A	
			数Ⅱ・数B・数C	
		理	物理, 化学, 生物, 地学から1	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	
		情	情Ⅰ	
	電気電子工学科 (4教科5科目)	数	数Ⅰ・数A	
			数Ⅱ・数B・数C	
		理	物理	
		外	英	
		情	情Ⅰ	
共 同 獣 医 学 部	共同獣医学科 (5教科7科目)	国	国語	
		地歴 公民 情	地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公 公・倫, 公・政経, 地総/歴総/公 (再掲) 情Ⅰ } から1	
		数	数Ⅰ・数A	
			数Ⅱ・数B・数C	
		理	物理, 化学, 生物, 地学から2	
		外	英	

(参 考)

推 薦 書（学校推薦型選抜Ⅰ）

志望理由書（学校推薦型選抜Ⅰ）

推 薦 書（学校推薦型選抜Ⅱ）

志望理由書（学校推薦型選抜Ⅱ）

（教育学部 小学校教育コース国際理解教育選修・幼児教育コース・特別支援教育コース）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学教育学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 課 程 名

学校教育教員養成課程

コース

選 修

入学志願者氏名

1. 推薦理由

本

（裏面に続く）

2. 学 業

3. 課外活動等（クラブ等の活動歴・役員歴・表彰等の特記事項，ボランティア活動等に関する
具体的内容）

4. 特記事項

（教育学部 教科教育コース数学教育選修）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者について、山口県の小学校教員となる意思があることを確認し、貴学教育学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 課 程 名	学校教育教員養成課程	教科教育	コース
入学志願者氏名		数学教育	選 修

1. 推薦理由（山口県小学校教員志望枠）

（裏面に続く）

2. 学 業

3. 課外活動等（クラブ等の活動歴・役員歴・表彰等の特記事項，ボランティア活動等に関する
具体的内容）

4. 特記事項

（経済学部）

推薦書

令和 年 月 日

山口大学長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学経済学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

☐ 高等学校の商業に関する学科等対象 ☐ 高等学校の全学科対象（該当箇所に✓）

入学志願者氏名

推薦理由

記載責任者

印

（理 学 部）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等 学 校 名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学理学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推薦学科名 ※いずれか1つに✓をしてください。

☐数理科学科 ☐化学科 ☐生物学科

入学志願者氏名

推薦理由

記載責任者

印

（農 学 部）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学農学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 学 科 名

学科

- ☐ 高等学校の農業に関する学科等対象
☐ 高等学校の農業、工業又は水産に関する学科等対象
☐ 高等学校の全学科対象

（該当箇所に✓）

入学志願者氏名

男・女

推
薦
理
由

（裏面に続く）

提出書式（見本）

学	学年全体での成績順位							
	第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
	クラスでの成績順位							
	第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
業	検定・資格等							
人								
物								
在 学 中 の 状 況								

記載責任者

㊞

記入上の注意

推薦書の記入にあたっては、推薦する生徒のありのままの姿を正確に、具体的事実をあげてください。

- 推薦理由
本学部には推薦する理由を具体的に記入してください。
- 学 業
 - 学年での成績順位及びクラスでの成績順位を記入してください。成績順位が出せない場合は、入学試験模試等から類推してください。
 - 検定・資格等（数学、語学、情報処理等）について、記入してください。
なお、同一の検定を二つ以上取得している場合は、上位のみ記入してください。
 - ホームルーム内での活動状況、勉学の自発性・計画性・持続性あるいは理解力及び創造的思考能力等について、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。
 - 本人を推薦する根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。
 - 得意な科目、好きな科目等について記入してください。
- 人 物
人物、性格、生活態度等について、本人の特性をよく表現するような事実をあげて具体的に記入してください。
- 在学中の状況
 - 本人の学校内での特記すべき活動（生徒会活動やクラブ活動等）及び学校外での特記事項（奉仕活動や科学技術活動に対する受賞等）を記入してください。
 - その他特記すべき事項があれば記入してください。

（ひと・まち未来共創学環）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学ひと・まち未来共創学環学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦します。

記

推 薦 課 程 名 ひと・まち未来共創学環

フ リ ガ ナ
入学志願者名

推薦理由

記載責任者

印

（裏面につづく）

在
学
中
の
特
記
事
項

見

記載責任者

印

記入上の注意

推薦書の記入にあたっては、推薦する生徒のありのままの姿を正確に、具体的事実をあげてください。

1. 推薦理由

本学環に推薦する理由を具体的に記入してください。

2. 在学中の特記事項

調査書への記載内容にかかわらず、**特筆点等があれば記入してください。**

(1) 検定・資格等（数学、語学、情報処理等）について、記入してください。

なお、同一の検定を二つ以上取得している場合は、上位のみ記入してください。

(2) ホームルーム内での活動状況、勉学の自発性・計画性・持続性あるいは理解力及び創造的思考能力等について、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

また、課題探究に関する経験、又は学習の中で課題探究に係る意欲があると判断されるものがあれば記入してください。

(3) 本人を推薦する根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。

(4) 本人の学校内での特記すべき活動（生徒会活動やクラブ活動等）及び学校外での特記事項（奉仕活動や科学技術活動に対する受賞等）やその他推薦に際して、特記すべき事項があれば記入してください。

提出書式（見本）

見

本

志望理由書

1. あなたのこれまでの高校生活について、下記の事項を参考にしながら、自由に述べてください。

本

2. 大学に進学する理由について、下記の事項を参考にしながら、自由に述べてください。

〔参考事項〕

大学進学の道を選んだ理由や将来の進路

この大学、学部、学科を選んだ理由

大学時代にやりたいこと

（記述欄）

（注）1. 本人が自筆で記入してください。

2. 記述はすべて、黒のボールペンを使用してください。

（理 学 部）

志 望 理 由 書

志 望 学 科 名

高 等 学 校 名

高等学校

科

氏 名

1. 志望理由

2. 得意な科目

3. 将来の進路に対する意向

提出書式（見本）

（学校推薦型選抜 I）

（農 学 部）

志 望 理 由 書

志望選抜名	☐ 高等学校の農業に関する学科等対象	志望学科名	学科
	☐ 高等学校の農業，工業又は水産に関する学科等対象	高等学校名	高等学校 科
	☐ 高等学校の全学科対象 （該当箇所に✓）	氏 名	

1. 志望する理由

2. 大学入学後に取り組みたいこと

（裏面に続く）

(ひと・まち未来共創学環)

志望理由

 $1/2$

将来の進路に対する意向

見

ひとやまちの未来を踏まえ、他者と協働して、地域課題を見出して解決することへの意欲について

本

（記入要項）

1. 本人が自筆で指定した枠内に記入してください。
2. 本学環に入学を希望するに至った動機と学習の目標、将来活躍したい分野などを踏まえて記入してください。
また、本学環が定めているアドミッションポリシーを踏まえて入学にふさわしい点を含み書いてください。

（人文学部）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学人文学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 学 科 名 人 文 学 科

入学志願者氏名

1. 推薦理由

2. 学業の実態

学年全体における成績順位の推移				クラス全体における成績順位の推移			
第1学年	第2学年	第3学年	(第4学年)	第1学年	第2学年	第3学年	(第4学年)
位 人中	位 人中	位 人中	位 人中	位 人中	位 人中	位 人中	位 人中

☐ 順位を付することが困難です。

3. 教科以外の活動

4. 人物の特性

5. 特記事項

記載責任者



記入上の注意

記載責任者については、推薦する事由に特に関係が深く、責任の持てる方であれば、担任、進路指導、クラブ顧問等いずれの先生でも結構です。

1. 推薦理由

本学部に推薦する理由を記入してください。

2. 学業の実態

学業の実態を、特に本人を推薦する理由となった点に関して詳しく記入してください。

なお、成績順位について順位を付することが困難な場合は、☐ にチェックを記入してください。

3. 教科以外の活動

スポーツや文化等の課外活動、生徒会活動、社会奉仕活動、国際交流体験等、教科以外の活動に、推薦の根拠となるものがあれば、具体的にその事実を記入してください。

4. 人物の特性

人物・性格・生活態度等について、できれば本人の特性を良く示す事実を挙げながら、具体的に記入してください。

5. 特記事項

上記の項目以外に参考になる事項があれば、記入してください。

（教育学部）

推 薦 書

山 口 大 学 長

殿

令和 年 月 日

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者について、山口県の小学校教員となる意思があることを確認し、貴学
教育学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたし
ます。

記

推 薦 課 程 名

学校教育教員養成課程

コース

選 修

入学志願者氏名

（裏面に続く）

提出書式（見本）

※本学入試課ホームページ（<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>）の「インターネット出願を利用できる
入学者選抜」から様式（PDF または Word）をダウンロードし、A4サイズ（両面印刷）で印刷、必要箇所に押印してください。
記載責任者が手書き（黒のボールペンにて記載）または Word への直接入力により作成してください。
Word への直接入力により作成する場合は、枠のサイズなど様式の変更等はしないでください。

1. 学 業

推薦する根拠となった事由を記入してください。

見本

2. そ の 他

調査書の記述以外で参考事項（教育活動、課外活動等）、資料などがあれば、記入又は添付してください。

見本

記載責任者



記入上の注意

1. 学業欄への記入にあたっては、志願者のありのままを正確に表すようにしてください。

（理 学 部）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学理学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推薦学科名 ※いずれか1つに✓をしてください。

☐物理・情報科学科 ☐地球圏システム科学科

入学志願者氏名

推薦理由

記載責任者

印

（医学部保健学科）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学医学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推薦学科・専攻名

保健学科

専攻

入学志願者氏名

推薦理由

記入上の注意

この推薦書は高等学校長の責任において、記入してください。

記入にあたっては、高等学校長を含めた関係者で、志願者のありのままの姿を正確に、なるべく具体的事実をあげてください。

1. 学 業

学年ごとの学年全体での成績順位（何人中何位）及びクラスでの成績順位（何人中何位）を記入してください。

最終学年については、最新の成績順位（何人中何位）を記入してください。

なお、「学年全体での成績順位」とは、同一学年に同一の科が複数のクラスにより構成されている場合にその全体での成績順位を記入してください。

2. 人 物

「勉学について」及び「行動及び性格について」は、それぞれの項目について5段階評価とし、該当する評点に○印を付けてください。

提出書式（見本）

（医学部保健学科）

1. 学 業

ア) 学年全体での成績順位

第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
------	---------	------	---------	------	---------	--------	---------

イ) クラス全体での成績順位

第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
------	---------	------	---------	------	---------	--------	---------

2. 人 物

ア) 勉学について

自 発 性	5 4 3 2 1 大 小	理 解 力	5 4 3 2 1 大 小
計 画 性	5 4 3 2 1 大 小	直 観 力	5 4 3 2 1 大 小
持 続 性	5 4 3 2 1 大 小	創 造 力	5 4 3 2 1 大 小

イ) 行動及び性格について

自 主 性	5 4 3 2 1 大 小	責 任 感	5 4 3 2 1 大 小
積 極 性	5 4 3 2 1 大 小	公 正 さ	5 4 3 2 1 大 小
集 中 力	5 4 3 2 1 大 小	協 調 性	5 4 3 2 1 大 小
情緒の安定	5 4 3 2 1 大 小	社 会 性	5 4 3 2 1 大 小

ウ) 在学中の状況について

区 分	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
課 外 活 動 ・ 生 徒 会 等 で の 活 動 状 況			

エ) 特 技

（裏面に続く）

3. 志願者から聴取した進学希望理由

4. そ の 他

調査書及び上記の記述以外で参考事項について、特記事項があれば記入してください。

入学志願者氏名

記載責任者



本

（工 学 部）

推 薦 書

山 口 大 学 長	令和 年 月 日
殿	
見	
高等学校名	
高等学校長名	印

下記の者は、貴学工学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 学 科 名	学科
卒業(見込)科名	科
入学志願者氏名	

提出書式（見本）

※本学入試課ホームページ（<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>）の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」から様式（PDF または Word）をダウンロードし、A4サイズ（両面印刷）で印刷、必要箇所に押印してください。記載責任者が手書き（黒のボールペンにて記載）または Word への直接入力により作成してください。Word への直接入力により作成する場合は、枠のサイズなど様式の変更等はしないでください。

1. 学 業

推薦する根拠となった学業上の事由を記入してください。

2. そ の 他

調査書の記述以外で参考事項（教育活動、課外活動等）、資料などがあれば、記入又は添付してください。

記載責任者



記入上の注意

1. 学業欄への記入にあたっては、志願者のありのままを正確に表すようにしてください。

（共同獣医学部）

推 薦 書

令和 年 月 日

山 口 大 学 長 殿

高等学校名

高等学校長名

印

下記の者は、貴学共同獣医学部学校推薦型選抜の要件に該当するものと認め、
責任をもって推薦いたします。

記

推 薦 学 科 名

共同獣医学科

入学志願者氏名

男・女

推
薦
理
由

提出書式（見本）

※本学入試課ホームページ（<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>）の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」から様式（PDF または Word）をダウンロードし、A4サイズ（両面印刷）で印刷、必要箇所に押印してください。記載責任者が手書き（黒のボールペンにて記載）または Word への直接入力により作成してください。Word への直接入力により作成する場合は、枠のサイズなど様式の変更等はしないでください。

学	学年全体での成績順位							
	第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
業	クラスでの成績順位							
	第1学年	位 人中	第2学年	位 人中	第3学年	位 人中	(第4学年)	位 人中
人	見							
物								
在 学 中 の 状 況								

記載責任者

印

記入上の注意

推薦書の記入にあたっては、推薦する生徒のありのままの姿を正確に、具体的事実をあげてください。

- 推薦理由
本学部に推薦する理由を具体的に記入してください。
- 学 業
 - 学年での成績順位及びクラスでの成績順位を記入してください。成績順位が出せない場合は、入学試験模試等から類推してください。
 - ホームルーム内での活動状況、勉学の自発性・計画性・持続性あるいは理解力及び創造的思考能力等について、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。
 - 本人を推薦する根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。
 - 得意な科目、好きな科目等について記入してください。
- 人 物
人物、性格、生活態度等について、本人の特性をよく表現するような事実をあげて具体的に記入してください。
- 在学中の状況
 - 本人の学校内での特記すべき活動（生徒会活動やクラブ活動等）及び学校外での特記事項（奉仕活動や科学技術活動に対する受賞等）を記入してください。
 - その他特記すべき事項があれば記入してください。

志望理由書

見

1. 本人が自筆で記入してください。
2. 本学部に入学を希望するに至った動機と学習の目標、将来活躍したい分野などを記入してください。

（教育学部）

志 望 理 由 書

志望課程名	学校教育教員養成課程	コース 選 修
高等学校名	高等学校	科
氏 名		

1. 志望する理由

見本

2. 将来の進路に対する意向

卒業後に山口県の小学校教員となる意思を有することを踏まえて記入してください。

見本

（注） 本人が自筆で指定した枠内に記入してください。

（理 学 部）

志 望 理 由 書

志 望 学 科 名

高 等 学 校 名

高等学校

科

氏 名

1. 志望理由

2. 得意な科目

3. 将来の進路に対する意向

(学校推薦型選抜 II)

(医学部保健学科)

志望理由書

1. 志望する理由

見

得意な科目	不得意な科目
-------	--------

2/2

（工 学 部）

志 望 理 由 書

志望学科名	
高等学校名	
氏 名	

1. 志望する理由

提出書式（見本）

2. 得意な教科・科目, 不得意な教科・科目

得意な教科・科目	不得意な教科・科目
○教科・科目	○教科・科目
○上記について、学習面で心がけていることを記入してください。	○上記について、学習面で心がけていることを記入してください。

3. 将来の進路に対する意向

○将来の進路について（目標など）

○将来のために現在どのような準備をしているか，またこれからどのような準備をするか毎日の学習計画を例示しながら記入してください。

4. 取得資格の有無

--

(注) 本人が自筆で記入してください。

（共同獣医学部）

志 望 理 由 書

志望学科名	共同獣医学科	
高等学校名	高等学校	科
氏 名		

1. 志望する理由

見本

不得意な科目

不得意な科目

2/2

ACCESS MAP

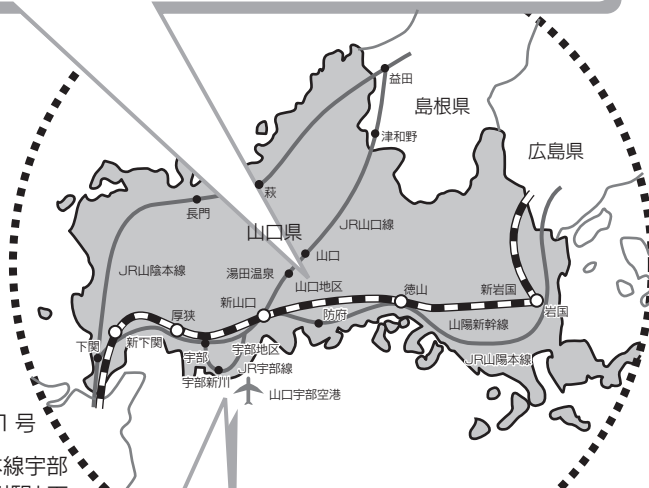


山口地区

- 人文学部・教育学部・経済学部・
理学部・農学部・共同獣医学部・
ひと・まち未来共創学環

吉田キャンパス／
山口市吉田1677-1

- JR新山口駅からJR山口線「湯田温泉駅」下車。
湯田温泉駅入口バス停からJRバス山口大学行「山口大学」下車。
(徒歩の場合、JR湯田温泉駅から約25分)
- JR新山口駅北口（在来線口）から防長バス「県庁前（平川経由）」行「山口大学前」下車。
徒歩約3分。
- JR新山口駅から車で約30分。
- 湯田温泉スマートインターチェンジから車で10分



宇部地区

- 医学部

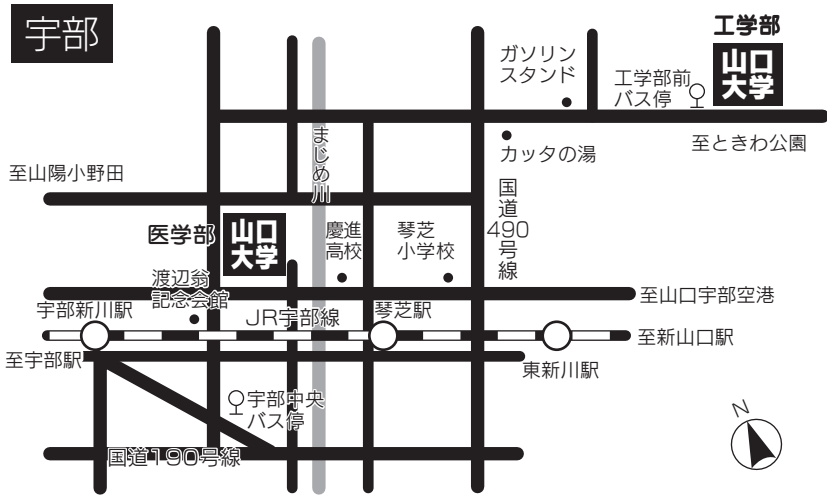
小串キャンパス／
宇部市南小串1丁目1番1号

- JR新山口駅又はJR山陽本線宇部駅からJR宇部線「宇部新川駅」下車。徒歩約10分。
- 宇部中央バス停下車。徒歩約10分。
- 山口宇部空港から車で約15分。

- ## ■工学部

常盤キャンパス／
宇部市常盤台2丁目16番1号

- JR新山口駅またはJR山陽本線
宇部駅からJR宇部線「宇部新川
駅」下車。
駅前バス停から宇部市営バス（下
記のいずれか）に乗車し、工学部
前下車。徒歩約3分。
- ・参宮通經由ひらき台行
 - ・参宮通經由ひらき台・交通局行
 - ・めぐりな（東部市内循環線）
 - ・萩原循環線
- 山口宇部空港から車で15分。



試験の前日及び当日の自動車・バイクの構内駐車はご遠慮ください。公共交通機関を利用してください。



〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL : (083) 933-5153, FAX : (083) 933-5041
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, Yamaguchi, 753-8511, Japan
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/>



チャットボットに問い合わせ

山口大学ホームページ（入試関連情報）ではチャットボットを導入しています。チャットボットが受験者の皆様からのご質問に対して自動応答を行いますので、ホームページ内にある左のアイコンをクリックして、ぜひご利用ください。